# MITSUBISHI

自然冷媒$CO_2$小型業務用ヒートポンプ給湯機

# 取扱説明書

システム形名

三相　即湯・混合給湯機種

ジーイー　エスユージェイ
## GE-55SUJ

三相　混合給湯専用機種

ジーイー　エスユー
## GE-55SU

単相　高温・混合給湯機種

ジーイー　エイチ
## GE-55H

単相　混合給湯専用機種

ジーイー
## GE-55

※耐重塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BSG」が付きます。

ご使用の前に

使いかた

こんなとき

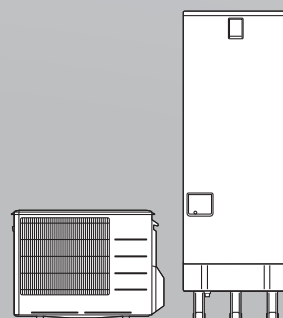
故障かな

このたびは、三菱小型業務用エコキュートをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

三菱小型業務用
エコキュート

■正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、正しくお使いください。「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
■お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
■「保証書」「据付工事説明書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。
■「据付工事説明書」のとおりに据付工事が行われているか確認してください。
※「据付工事説明書」のチェックリストや工事完了後の確認をご活用ください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。またアフターサービスもできません。

# みんなの笑顔いっぱいの三菱エコキュート。

## 省エネ

大気の熱を利用し
お湯をつくります

29ページ

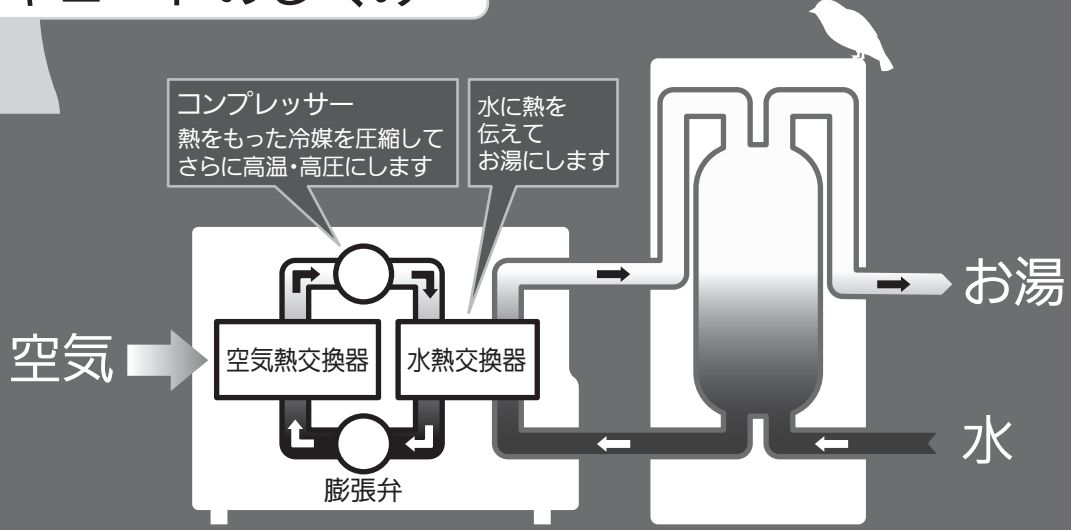
## 安 心

火を使わないので
空気を汚さず
イヤなニオイもありません

## 効 率 的

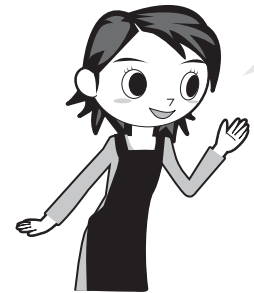
お客さまの営業時間に合わせて
わき上げを行います

14ページ

## エコキュートのしくみ

## 知っておいていただきたいこと

●水は体積膨張するため、わき上げ中に排水口から水が排出されることがあります
●わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします、また少量のドレン水が出ます
●お湯の温度・残湯量は周囲環境によって変動します



# 準 備

**●ご使用の前に
必ずお読みください**



**●リモコンの表示を確認してください**

点灯している場合は…そのままご使用ください
消灯している場合は…「使いはじめ（準備）P25 P27」をご覧ください

# もくじ

## 使いかた



## こんなとき



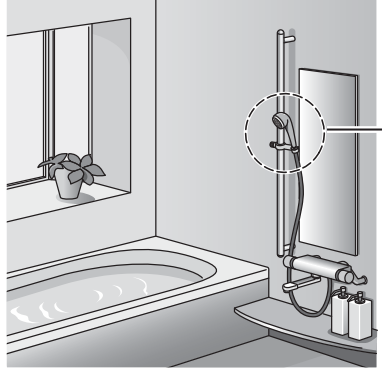
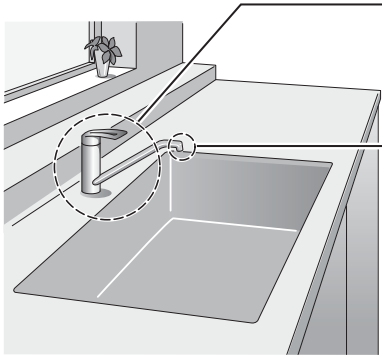
## 故障かな

# 安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

| | | | |
|---|---|---|---|
|  警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。 |  注意 | 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。 |

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
|  禁止 |  接触禁止 |   ぬれ手禁止 |  分解禁止 |  指示に従う |   アース工事確認 |

■機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

| | | | |
|---|---|---|---|
|  感電注意 |  高温注意 |  発火注意 | 回転物注意 |

## やけどを防ぐために！

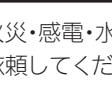
警告

**給湯時は湯水混合栓に手を触れない**

**使いはじめは、しばらくお湯に触れない**
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。

**停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する**
設定温度と異なる温度のお湯が蛇口から出ることがあります。

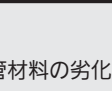
**シャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する**

| | |
|---|---|
|  ヒートポンプ配管や高温給湯配管※には手を触れない<br>※高温・混合給湯機種のみ |  給湯（取水）・排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない |

 給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき（P8 P9）をご覧ください。



## 警告

安全に使用するために

 給湯機やリモコンを分解・修理・改造・移設しない（火災・感電・水漏れの原因）
販売店・工事店またはメーカー指定のお客様相談窓口に依頼してください。

| | |
|---|---|
|  近くにガス類や引火物を置かない<br>ガスボンベからは2m以上離す<br>（発火の原因） |  ヒートポンプユニットの空気吹出口に指や棒等を入れない<br>（内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因） |

 異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「修理窓口 P35」へ連絡する（火災・感電・やけどの原因）

機器の点検・お手入れに関する注意

| | |
|---|---|
|  **漏電遮断器は濡れた手で操作しない**<br>**（感電の原因）** |  **逃し弁点検時は配管に手を触れない**<br>**（やけどの原因）** |
|  貯湯ユニットの前面カバーやヒートポンプユニットの電源カバーを開けない<br>（ショートや感電の原因） |  **アース工事を確認する**（感電の原因）<br>アースの取付けは販売店または工事店にお問い合わせください。 |
|  **漏電遮断器の動作を確認する**<br>**（故障のまま使用すると、感電や火災の原因）** |  お手入れ時や点検時は、手袋等の保護具を着用する（けがの原因） |

## 注意

安全に使用するために

 **そのまま飲用しない**
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化で水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記に注意し一度ヤカンなどで沸騰させてください。

- 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用する。
- 熱いお湯が出てくるまでの配管にたまっている水は、雑用水として使用する。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合、飲用せずに直ちに点検を依頼する。

| | |
|---|---|
|  機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えない（落下・転倒などよりけがの原因） |  ヒートポンプユニットのアルミフィンに触らない<br>（けがの原因） |

機器の点検・お手入れに関する注意

| | |
|---|---|
|  ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない<br>（落下、転倒によるけがの原因） |  高圧洗浄機等で水洗いしない<br>（漏電による火災や感電の原因） |
|  タンク内の熱いお湯を直接排水しない<br>（やけどや排水管の破損の原因） |  **定期的に逃し弁を点検する**<br>**（正しく作動しないと水漏れの原因）** |
|  **凍結防止対策の確認をする**<br>**（配管が破損して水漏れや、やけどの原因）**<br>販売店または工事店にご確認ください。 |  床面が防水・排水処理されていることを確認する<br>（水漏れによる損害の原因）<br>販売店または工事店にご確認ください。 |

貯湯ユニットの脚がアンカーボルトで固定されているか確認する
2階以上に据付ける場合は、天部も上部振れ止め金具で固定されているか販売店または工事店に確認する
（地震などにより転倒によるけがの原因）

| | |
|---|---|
| お手入れや点検時は、漏電遮断器を「切」にする<br>（ヒートポンプユニットのファンが回転してけがの原因） |  お手入れや点検の後は、漏電遮断器と逃し弁のカバーは閉じる（雨やごみが入ると火災や感電の原因） |

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

| | |
|---|---|
|  **機器を使用しないときは、機器と配管内の水を抜く**（凍結により機器が破損して水漏れや故障の原因） |  長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、機器と配管内の水を抜く（水質が変化し飲用すると健康を害する原因） |

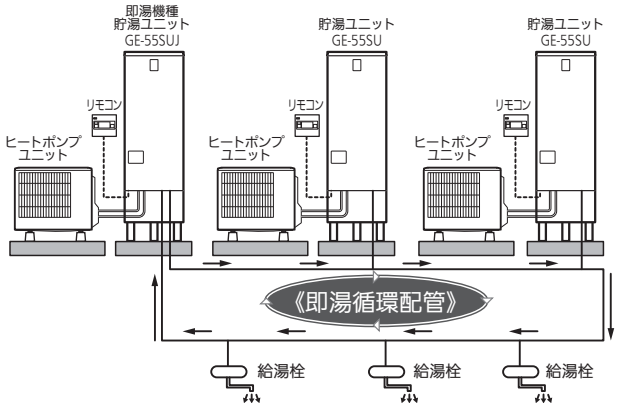
# ご使用の前にご確認ください

ご使用前に、ご使用の機器や機種固有の特長・機能をご確認ください。

## 即湯循環システム

対応機種:GE-55SUJ(三相 即湯・混合給湯機種)

即湯配管内に給湯温度設定の湯を循環させて、即湯配管内に温かい湯を保つことで、給湯機から離れた場所でもすぐにお湯を供給することができます。

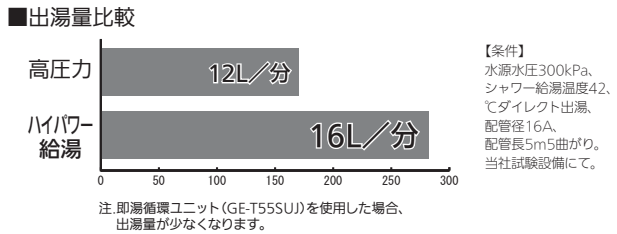
- 即湯・混合給湯機種(GE-55SUJ)1台と混合給湯専用機種(GE-55SU)3台までの連結が可能です。
- 即湯運転は入/切可能です。入に設定すると、設定された時間中に動作します。
- 設定温度の湯を循環させるため、給湯機から遠い水栓では、設定温度より約5℃程度湯温が低下します。
- 即湯配管の温度により、自動的に循環と停止を繰返します。
- 即湯運転設定時間中は、リモコンに「即湯中」と表示されます。

## ハイパワー給湯

対応機種:GE-55SUJ(三相 即湯・混合給湯機種)、GE-55SU(三相 混合給湯専用機種)

ハイパワー給湯タイプは、減圧弁圧力が280kPaなので、たっぷりのお湯が使えます。

- ハイパワー給湯タイプは、水源水圧300kPa以上でご使用ください。
- 水源水圧が低い場合や給水・給配管が細い場合、他の給湯と同時に使用した場合、出湯量が少なくなることがあります。水栓の種類や配管条件などでも変化します。

■出湯量比較

注.即湯循環ユニット(GE-T55SUJ)を使用した場合、出湯量が少なくなります。

## 三相電源に対応

対応機種:GE-55SUJ(三相 即湯・混合給湯機種)、GE-55SU(三相 混合給湯専用機種)

業務用電力契約に対応し、小規模の店舗や施設に多い低圧電力契約から、中規模施設の高圧電力契約まで幅広く対応できます。

*電力契約については最寄の電力会社へお問い合わせください。

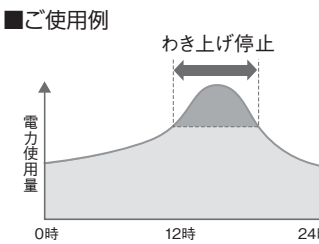
## 外部入出力端子

対応機種:GE-55SUJ(三相 即湯・混合給湯機種)、GE-55SU(三相 混合給湯専用機種)

外部入出力端子を利用し、他の機器との連携制御が可能。外部制御盤からのデマンド制御により、電力使用量のピークを考えて電力負荷の平準化に貢献できます。なお、外部入出力端子には、下表の機能があります。

| 信号の種類 | 項目 | 入 | 切 | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| 接点入力 | わき上げ停止 | わき上げ停止(※) | 通常 | わき上げ停止指示を入力 |
| 接点出力 | わき上げ中表示 | わき上げ中 | わき上げ無し | わき上げの有無を表示 |
| | エラー発生有無 | エラー有 | エラー無 | 機器の異常によるエラー発生の有無を表示 |
| | 開閉弁状態 | 閉止 | 開放 | 給湯(給水)開閉弁の開閉指示状態を表示 |

※外部入力によるわき上げ停止中は、リモコンに「外部制御」と表示されます。
※外部入力によりわき上げを停止した場合は、湯切れにご注意ください。
※機器保護のためのわき上げ(凍結防止、除霜など)は停止できません。
※外部入力によるわき上げ停止中は、満タンわき増し、休業日数は設定できません。
　満タンわき増し、休業日数設定中に外部入力によるわき上げ停止を行うと、設定が自動的に解除されます。

■ご使用例

### 機能一覧

ご使用の給湯機のシステム形名により、使用できる機能や配管システムが異なります。

| システム形名 | 給湯口※ | | 給湯圧力 | | 電源 | | 即湯循環 | 外部入出力端子 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 混合 | 高温 | ハイパワー(280kPa) | 高圧力(170kPa) | 三相 | 単相 | | |
| GE-55SUJ | ○ | — | ○ | — | ○ | — | ○ | ○ |
| GE-55SU | ○ | — | ○ | — | ○ | — | — | ○ |
| GE-55H | ○ | ○ | — | ○ | — | ○ | — | — |
| GE-55 | ○ | — | — | ○ | — | ○ | — | — |

※高温給湯、混合給湯の2経路で使用可能(GE-55Hのみ)
　給湯温度目安…高温:約65℃～約85℃、混合:35℃～48℃(1℃刻み)・50℃・60℃





# 使用前の準備

## 当社規定の水質であることを確認する

- **必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用し、かつ当社規定の水質(必ず、事前に当社水質調査の実施が必要です。)であることを確認してください。(水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。)**
- **特に温泉水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。(水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。)**

## 機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

- 運転音や振動が気になる場所(隣家の迷惑になる場所)
- 最低気温がマイナス10℃以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

## お客さまご自身では据付けない(安全や機能の確保ができません。)

三菱小型業務用エコキュートの据付工事は、据付工事店(販売店)が「電気設備に関する技術基準」及び「内線規定」に基づき実施しております。据付工事完了後、据付工事説明書の25ページの事項をお客様ご自身でご確認ください。

# ご使用にあたってのお願い

## お湯を上手に使う

- 店舗営業時間を入力いただくことで、営業時間に合わせて効率的にお湯をわかします。
- 高温・混合給湯機種は、茹麺機や食器洗浄機に必要な高温給湯・混合給湯の2経路で使用できますので厨房用途に最適です。
- 貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。
  シャワーや洗いものを流しっぱなしで使用すると、湯切れの原因になります。

### 停電したとき

停電・断水時は主に以下のことができます。

| | 給湯 | わき上げ |
|---|---|---|
| 停電時 | ○(注) | × |
| 断水時 | × | ○ |

注.即湯・混合給湯機種は対象外です。

- 停電したときでも「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**
- わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。
- 停電時はタンクにお湯があれば給湯できますが、温度調節ができないため、設定温度と異なる温度のお湯が蛇口から出ることがあります。高温のお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。
- 湯水混合栓のハンドルは湯側を全開にして使用しないでください。
- 即湯循環システムでご使用の場合、停電時に給湯するときは、即湯・混合給湯機種の給水配管専用止水栓を閉じてください。

停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する(やけどの原因)

### 給湯を止めるとき

- 水栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯を止めるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。
  作業を行う場合は、一度、水栓を開き、お湯が出なくなったことを確認してから行なってください。

### リモコン

- リモコンの時刻がずれた場合は、時刻を合わせ直してください。**時刻がずれていると、営業開始時に必要な湯量を確保できない場合があります。**
- リモコンは防水タイプではありません。水をかけないでください。(故障の原因)

### 断水したとき(水が濁る)

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。(閉じると給湯機からのお湯が止まります。)閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯ユニットの給水ストレーナ部が目詰まりし、出湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
②断水時は蛇口の混合栓を水側にして、蛇口は開けないでください。
③断水が復旧したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

### 洗面台等の点検

- 洗面台や浴槽はよく洗ってください。
  汚れが付きにくくなります。

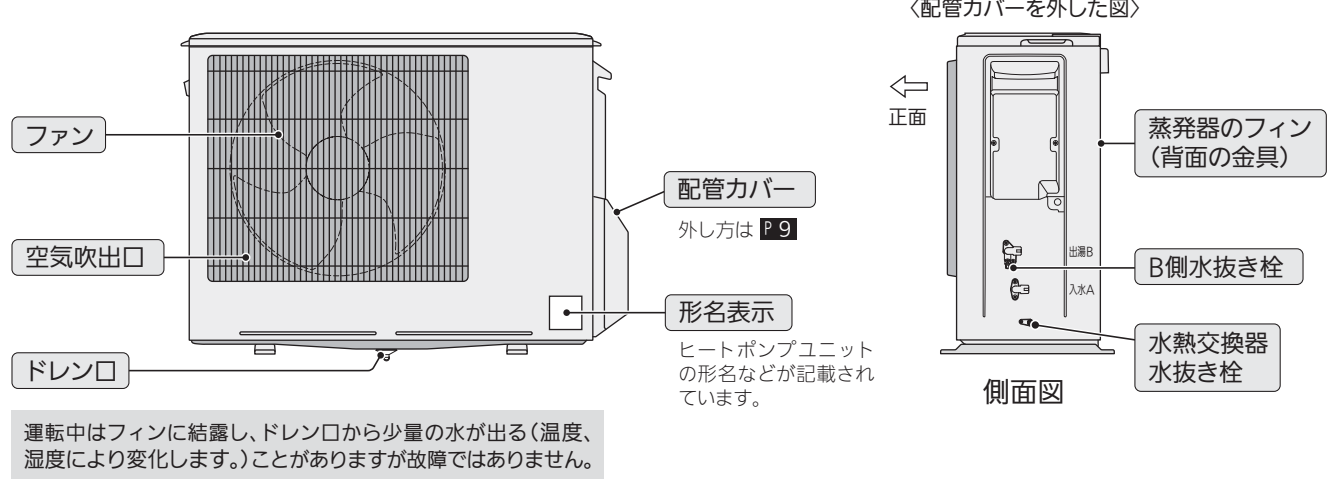
### 機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。(誤動作や故障の原因)
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かないでください。(性能低下や故障の原因)

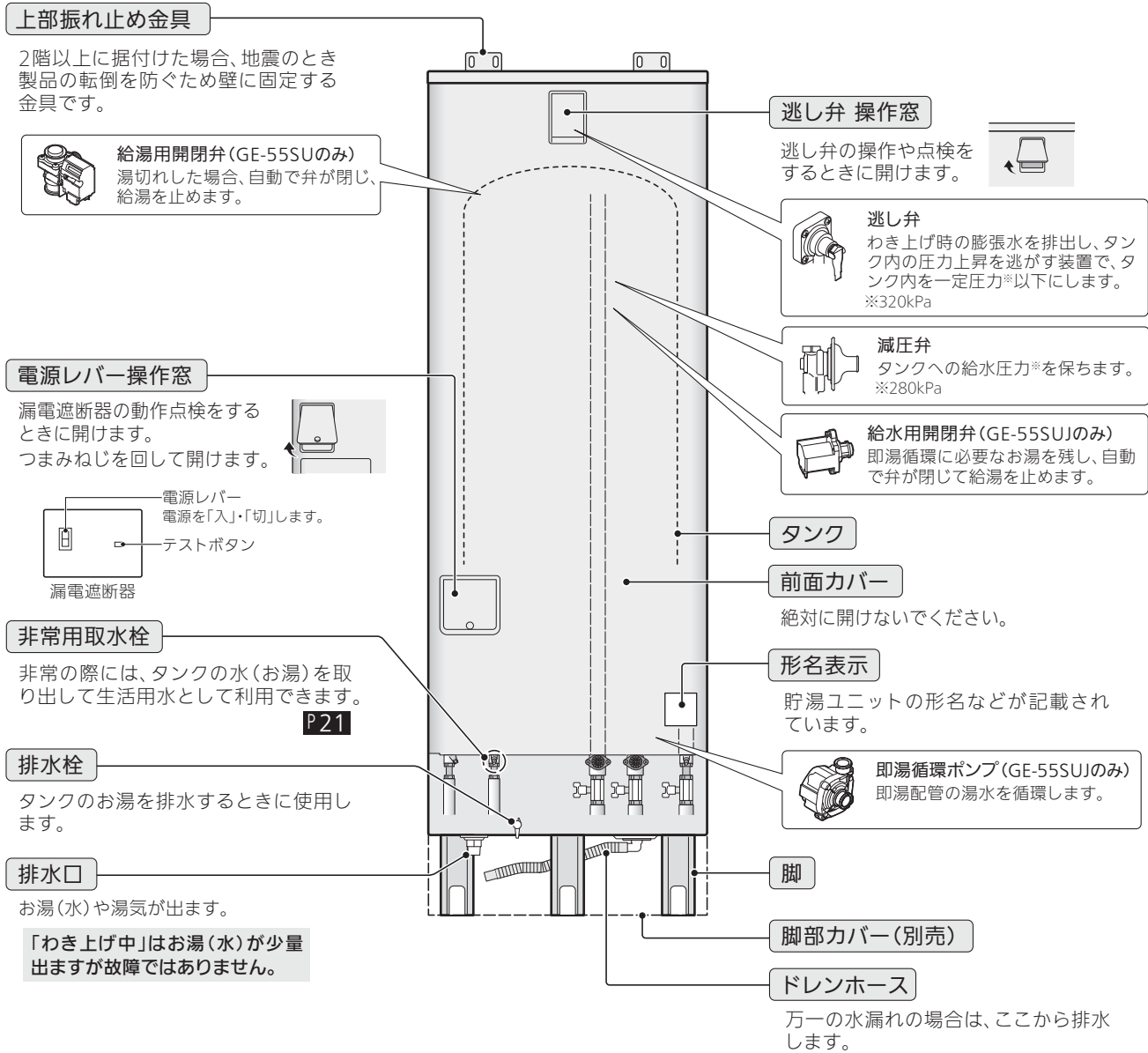
# 各部のはたらき

機種によって部品の取付位置や形状が異なります。

## ヒートポンプユニット

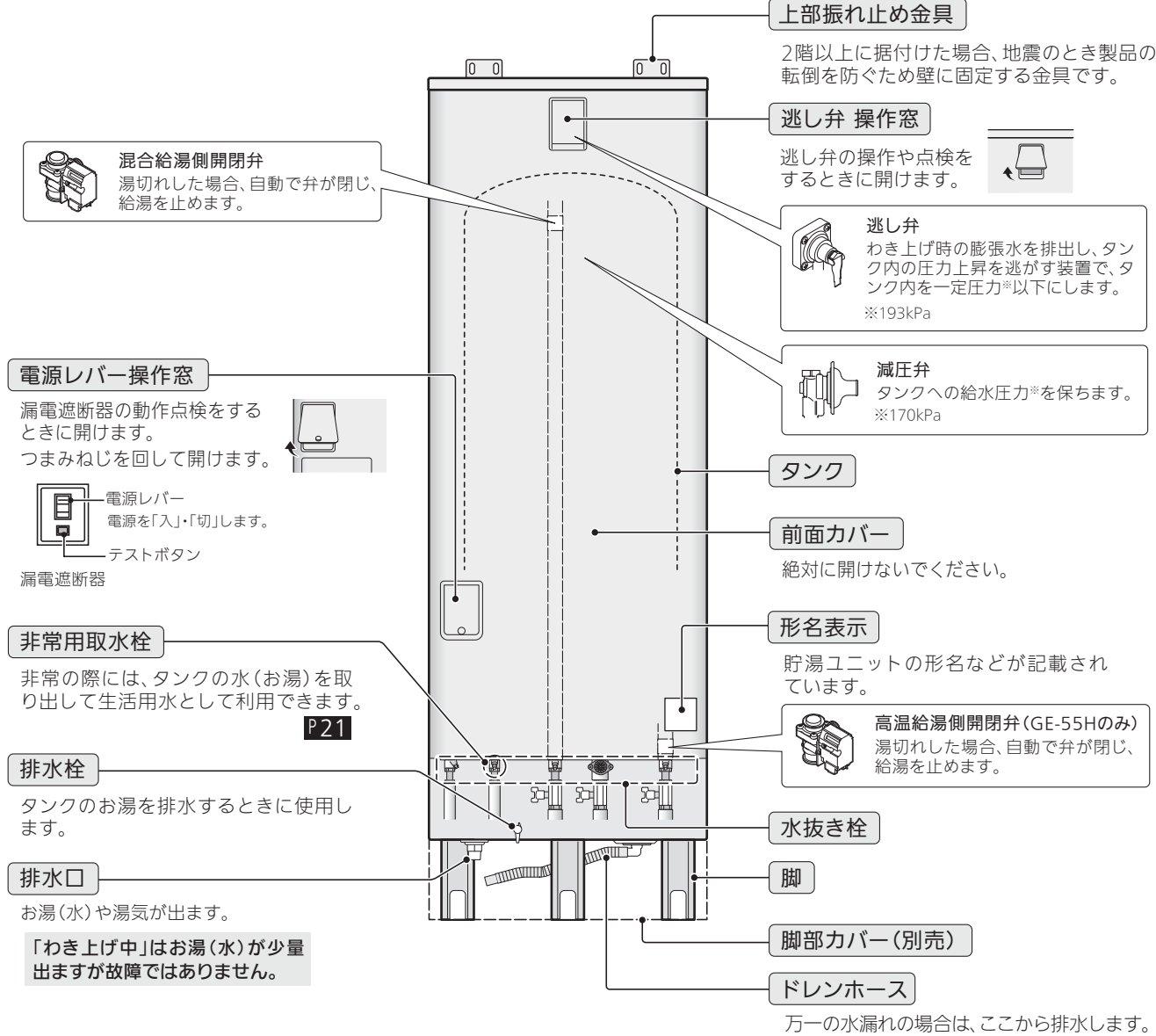
運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）ことがありますが故障ではありません。

## 貯湯ユニット（三相 即湯・混合給湯機種/三相 混合給湯専用機種）

三相 即湯・混合給湯機種で説明しています。

「わき上げ中」はお湯（水）が少量出ますが故障ではありません。



## 貯湯ユニット（単相 高温・混合給湯機種/単相 混合給湯専用機種）

高温・混合給湯機種で説明しています。

「わき上げ中」はお湯（水）が少量出ますが故障ではありません。

### ■ヒートポンプユニット 配管カバーの外しかた

(1)貯湯ユニットの電源レバーを「切」にする
(2)つまみねじ（1本）を外す
(3)配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く

ヒートポンプ配管
つまみねじ
配管カバー
●取り外し時：➡
●取り付け時：⇨

### ⚠警告

**ヒートポンプ配管や高温給湯配管※に手を触れない（やけどの原因）**

※高温・混合給湯機種のみ

### ■貯湯ユニット 脚部カバー（別売）の外しかた

(1)つまみねじ（2本）を外す
(2)脚部カバーを手前に引く

ポイント

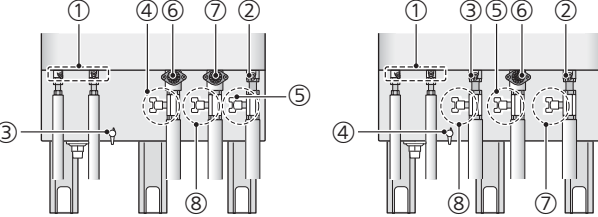
● 金属端面に注意して外してください。

### ■貯湯ユニット 水抜き栓、ストレーナ、止水栓、排水栓の取付位置

〈GE-55SUJ/GE-55SU〉

| No. | 名称 |
|---|---|
| ① | ヒートポンプ配管用水抜き栓 |
| ② | 即湯往き配管用水抜き栓（GE-55SUJの場合） |
| | 混合給湯配管用水抜き栓（GE-55SUの場合） |
| ③ | 排水栓 |
| ④ | 給水配管専用止水栓 |
| ⑤ | 即湯往き配管専用流量調整バルブ（GE-55SUJの場合） |
| | 混合給湯配管専用流量調整バルブ（GE-55SUの場合） |
| ⑥ | 給水ストレーナ |
| ⑦ | 即湯ストレーナ※1 |
| ⑧ | 即湯戻り配管専用止水栓※1 |

※1.GE-55SUJのみ

〈GE-55H/GE-55〉

| No. | 名称 |
|---|---|
| ① | ヒートポンプ配管用水抜き栓 |
| ② | 高温給湯配管用水抜き栓※2 |
| ③ | 混合給湯配管用水抜き栓 |
| ④ | 排水栓 |
| ⑤ | 給水配管専用止水栓 |
| ⑥ | 給水ストレーナ |
| ⑦ | 高温給湯配管専用流量調整バルブ※2 |
| ⑧ | 混合給湯配管専用流量調整バルブ |

※2.GE-55Hのみ

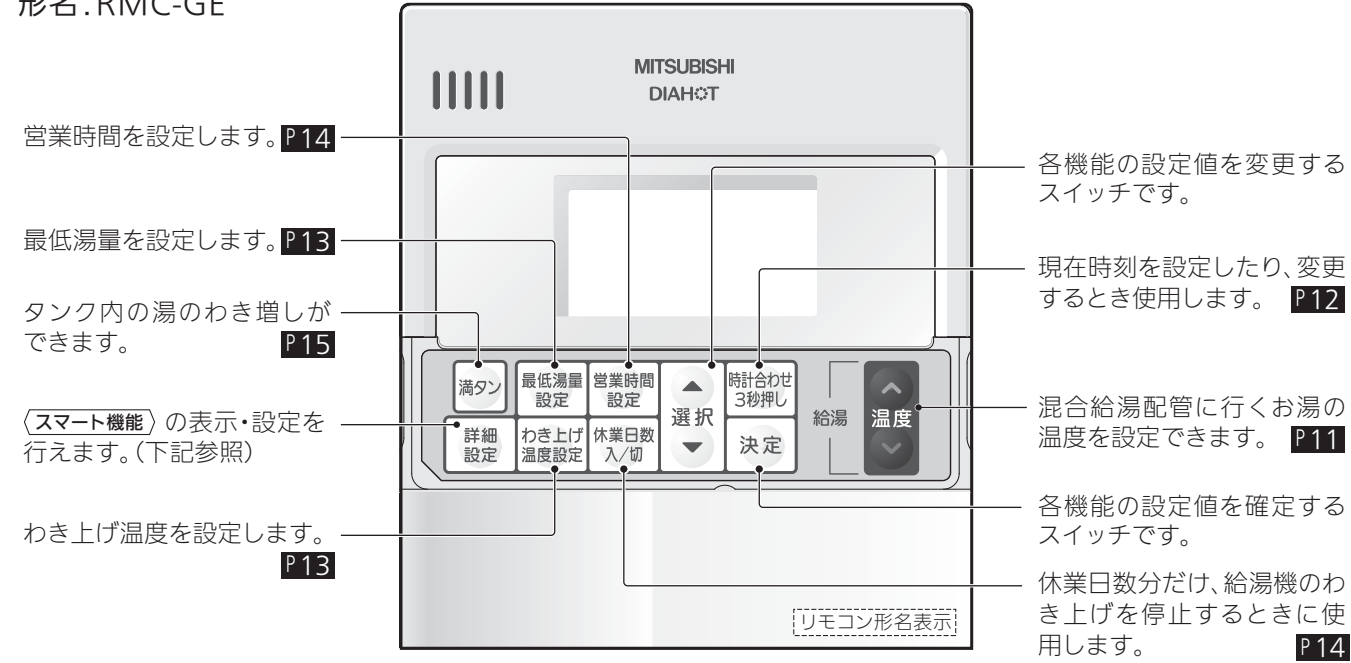
「給水配管専用止水栓（④または⑤）」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。水が漏れるなどの異常がありましたら、「給水配管専用止水栓」を閉じてください。

# リモコンのはたらき

※リモコンのドット文字は株式会社リコー製ビットマップフォントを使用しています。
※音声ガイダンスはありません。

形名：RMC-GE（アールエムシー ジーイー）

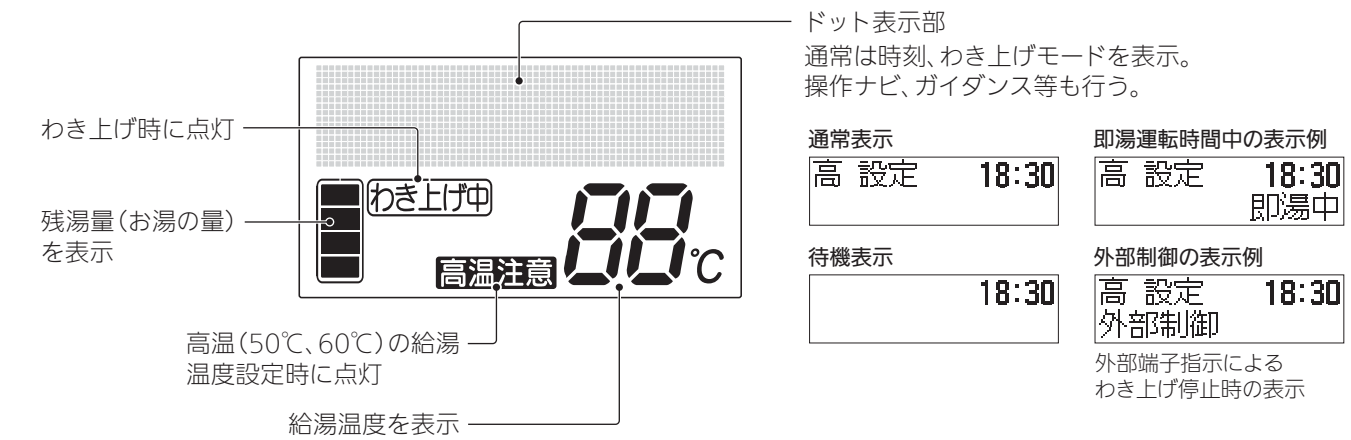
- 営業時間を設定します。P14
- 最低湯量を設定します。P13
- タンク内の湯のわき増しができます。P15
- 〈スマート機能〉の表示・設定を行えます。（下記参照）
- わき上げ温度を設定します。P13
- 各機能の設定値を変更するスイッチです。
- 現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。P12
- 混合給湯配管に行くお湯の温度を設定できます。P11
- 各機能の設定値を確定するスイッチです。
- 休業日数分だけ、給湯機のわき上げを停止するときに使用します。P14

MITSUBISHI DIAHOT
満タン／最低湯量設定／営業時間設定／選択／時計合わせ3秒押し／給湯 温度／詳細設定／わき上げ温度設定／休業日数入/切／決定
リモコン形名表示

〈スマート機能〉機種により異なります。

| 機種 | GE-55SUJ | 機能名 | |
|---|---|---|---|
| 機能番号 | 1 | タンク内温度 | P16 |
| | 2 | 使用湯量 | P16 |
| | 3 | 1週間平均使用湯量 | P16 |
| | 4 | 即湯運転 | P16 |
| | 5 | 即湯配管長（全長） | P17 |
| | 6 | 即湯配管の凍結予防運転 | P17 |
| | 7 | 湯切れ報知音 | P18 |
| | 8 | 自動消灯時間 | P18 |
| | 9 | バックライトモード | P19 |
| | 10 | 給湯開閉モード | P19 |
| | 11 | 貯湯量調整 | P20 |

| 機種 | GE-55H GE-55 | GE-55SU | 機能名 | |
|---|---|---|---|---|
| 機能番号 | 1 | 1 | タンク内温度 | P16 |
| | 2 | 2 | 使用湯量 | P16 |
| | 3 | 3 | 1週間平均使用湯量 | P16 |
| | 4 | 4 | 湯切れ報知音 | P18 |
| | 5 | 5 | 自動消灯時間 | P18 |
| | 6 | 6 | バックライトモード | P19 |
| | 7 | ― | 湯切れ時止水（高温給湯側） | P20 |
| | 8 | 7 | 湯切れ時止水（混合給湯側） | P19 |
| | 9 | 8 | 貯湯量調整 | P20 |

## リモコン表示部（説明のため、画面は表示が点灯した状態にしてあります。）

画面はバックライト付きです。待機表示中は時計のみ表示します。

混合給湯配管の

# 給湯温度設定

混合給湯配管の給湯温度（蛇口・シャワーへ行くお湯の温度）を設定できます。

**※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで給湯温度を同じ設定に合わせてください。**

**即湯循環システムでご使用の場合、連結された給湯機（GE-55SU）の給湯温度は、GE-55SUJで設定した給湯温度に合わせてください。**

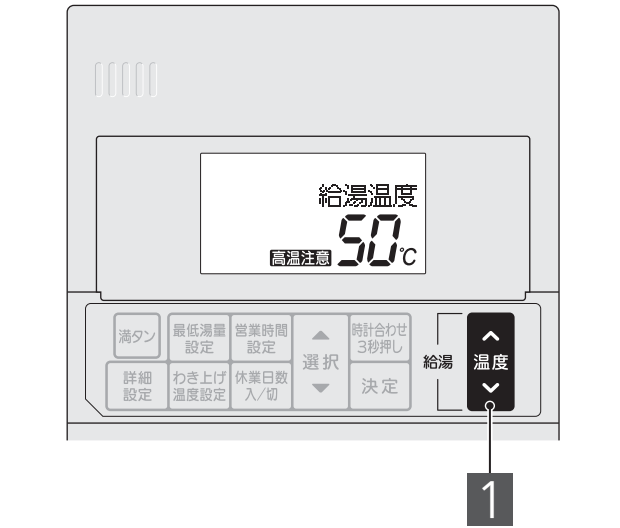
●設定範囲

GE-55SUJ、GE-55SU

35℃～48℃（1℃刻み）／50℃／60℃
工場出荷時は60℃

注.GE-55SUJの場合、工場出荷時は給湯温度を変更できません。
変更する場合は右記「給湯温度変更」にしたがってください。

GE-55H、GE-55

35℃～48℃（1℃刻み）／50℃／60℃
工場出荷時は50℃

**1 給湯温度スイッチで温度を設定する**

- ∧ …温度が上がる
- ∨ …温度が下がる

給湯温度が50℃に設定されました

**お願い**

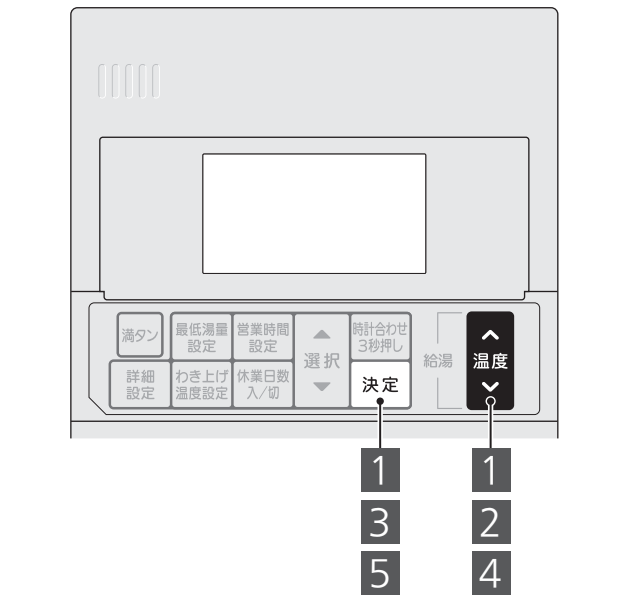
- サーモスタット付湯水混合栓において、混合給湯配管の給湯温度設定は使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

**お知らせ**

- 給湯温度を50℃以上に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。60℃に設定した場合はリモコンから警告音が鳴ります。
- 高温給湯配管（高温・混合給湯機種のみ）の給湯温度は変更できません。
- 給湯の「温度」は目安温度です。
- 給湯温度変更時は、配管内に変更前の温度のお湯が残っているため、設定と異なる温度のお湯が出る場合があります。

即湯・混合給湯機種（GE-55SUJ）のみ

# 給湯温度変更

**即湯循環システムでご使用の場合、建築物環境衛生管理基準にしたがい、給湯温度を50℃以下に設定するときは、湯水混合栓の遊離残留塩素検査を定期的に実施する必要があります。検査方法などは保健所などにご相談ください。
お客様が同意した上で変更を行なってください。**

**1** 決定 と  を同時に3秒以上押す

給湯温度【60℃固定】
ご使用中の設定

**2 給湯温度スイッチでモードを決める**

- ∧ …60℃固定になる
  ∨ …変更可になる

給湯温度【変更可】
変更後の設定

**3** 決定 を押す

- 【60℃固定】選択時：設定完了
  【変更可】選択時：手順4へ

**4 給湯温度スイッチで選択する**

- ∧ …はい：給湯温度変更可
  ∨ …いいえ：給湯温度60℃固定

遊離残留塩素検査が必要です【決定】

検査しますか？【はい】
変更可選択時の設定

**5** 決定 を押す

- 【はい】選択時：給湯温度変更可
  【いいえ】選択時：給湯温度60℃固定

給湯温度を変更できます

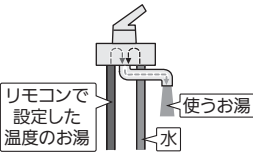
■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）



ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

# 給湯する(湯水混合栓)

湯水混合栓のハンドル調整によって、リモコンで設定した温度のお湯に水を混ぜて給湯します。

**使うお湯がぬるい場合は、ハンドルを調整したり、リモコンの給湯温度設定を上げたりしてください。**

| ⚠警告 | 入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する(やけどの原因) |
|---|---|

**1** リモコンで給湯温度を確認する

**2** 蛇口を開き、湯水混合栓の温度を調節する

● 湯水混合栓のタイプで調節方法は異なります。

| シングルレバータイプ | 2バルブタイプ | サーモスタットタイプ |
|---|---|---|
| レバーを回して調節する | 給湯栓、給水栓で調節する | 温度調節つまみで調節する |
| レバー | 給湯栓　給水栓 | 温度調節つまみ |

お願い

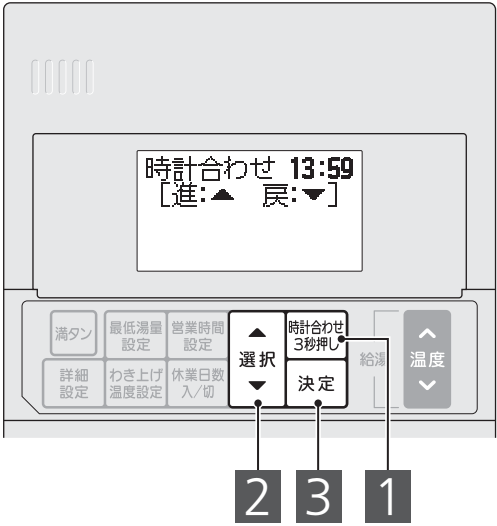
- 冬場など、お湯がぬるい場合は、給湯温度の設定を上げてください。
- サーモスタットタイプの場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。
- 給湯機や湯水混合栓を初めて使用する際は、湯水混合栓の取扱説明書にしたがって温度調節をしてください。正しく調節しないと、お湯がぬるいなどの原因になります。

お知らせ

- 給湯配管の長さによっては、お湯が蛇口に届くまで時間がかかることがあります。

# 時計合わせ

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。

**※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで時刻を合わせてください。**

**1** 時計合わせ3秒押し を3秒以上押す

● 時刻が点滅します。

時計合わせ 13:59 [進:▲　戻:▼]
交互表示
時計合わせ 13:59 [確 定: 決定 ]

**2** 選択スイッチで時刻を合わせる

● ▲…1分間進む
▼…1分間戻る
(押し続けると連続して変更)

時計合わせ 14:00 [進:▲　戻:▼]

**3** 決定 を押す

時計が14:00に設定されました

お願い

- 各スイッチ操作は約1分間以内に行なってください。
- 表示部に「0:00」が点滅している場合は、わき上げできませんので、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。

お知らせ

- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- **時計の時刻は停電などにより若干変動します。**

# わき上げ温度

給湯機のわき上げ温度を決めます。

**※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンでわき上げ温度を同じ設定に合わせてください。**

●設定範囲

| 設定 | わき上げ温度目安 | わき上げ内容 |
|---|---|---|
| 高 | 約85℃ | 設定された営業時間(P14)中は、最低湯量の設定量を下回るとわき上げを開始します。 |
| 中 | 約75℃～約80℃ (※1) | |
| 低 | 約65℃～約75℃ (※2) | |
| 自動 | 約65℃～約85℃ | 過去の使用湯量から学習したお湯の量を自動でわき上げるモードです。 |

※1.GE-55SUJの即湯運転設定中は、約80℃になります。それ以外では、約75℃になります。
※2.GE-55SUJの即湯運転設定中は、約75℃になります。それ以外では、約65℃になります。

工場出荷時は高

**1** わき上げ温度設定 を押す

わき上げ温度設定【高 設定】

**2** 選択スイッチで設定する

● ▲…1つ進む
▼…1つ戻る

自動→低→中→高

わき上げ温度設定【自動設定】

**3** 決定 を押す

わき上げが自動に設定されました

お願い

- **いつもより多めにお湯を使用する場合、お湯がたりなくなることがあります。その場合は満タンわき増しをご利用ください。(P15)**

お知らせ

- 「自動」の場合、設置後2週間は学習運転を行うため、わき上げが多くなります。

# 最低湯量

常に確保しておく湯量を選択できます。
わき上げ温度が「自動」のときは設定した値に関係なく、自動でわき上げを行います。

●設定範囲

最低湯量なし／150L／300L／400L
工場出荷時は300L

**1** 最低湯量設定 を押す

最低湯量【300L】

**2** 選択スイッチで設定する

● ▲…1つ進む
▼…1つ戻る

最低貯湯なし→150L→300L→400L

最低湯量【400L】

**3** 決定 を押す

最低湯量が400Lに設定されました

お知らせ

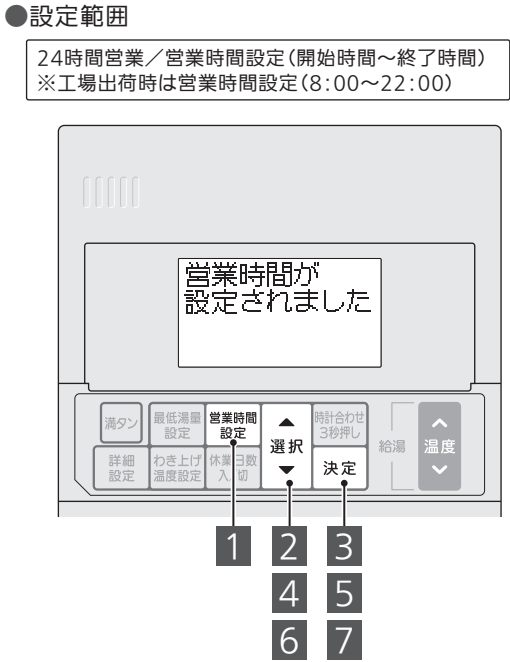
- 営業時間(P14)が24時間営業設定の場合、「最低湯量なし」は設定できません。
- 「最低湯量なし」に設定した場合、営業時間内はわき上げを行いません。
- 最低湯量は貯湯量調整(P20)と連動します。
  ①貯湯量調整を400Lに設定した場合、「400L」は設定できません。
  ②貯湯量調整を300Lに設定した場合、「400L」「300L」は設定できません。
  ③貯湯量調整の設定値に合わせて、最低湯量が変更されます。

# 営業時間設定

営業時間を設定すると、営業開始時間に合わせてタンク内を満タンまでわき上げます。営業時間外が8時間未満の場合は、24時間営業の設定をおすすめします。

※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで営業時間を同じ設定に合わせてください。

●設定範囲

24時間営業／営業時間設定(開始時間～終了時間)
※工場出荷時は営業時間設定(8:00～22:00)

1 営業時間設定 を押す

2 選択スイッチで設定する

24時間営業? はい
[はい▲いいえ▼]

● [▲]…はい:24時間営業(設定完了)
[▼]…いいえ:営業時間設定(手順3へ)

3 決定 を押す

営業開始 8:00
[進:▲ 戻:▼]

4 選択スイッチで開始時間を設定する

営業開始 6:30
[進:▲ 戻:▼]

● [▲]…30分進む [▼]…30分戻る
(押し続けると連続して変更)

5 決定 を押す

営業終了 22:00
[進:▲ 戻:▼]

6 選択スイッチで終了時間を設定する

営業終了 20:00
[進:▲ 戻:▼]

● [▲]…30分進む [▼]…30分戻る
(押し続けると連続して変更)

7 決定 を押す

営業時間が
設定されました

- 現在時刻が設定されていない場合は、設定できません。
- 最低湯量設定(P13)が「最低湯量なし」の場合、24時間営業は設定できません。
- 営業時間設定スイッチを押すと、1つ前の手順に戻ります。
- スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。
- 即湯運転時間は変更されません。必要に応じて変更してください。(P16)

# 休業日数

翌日からお湯を使用しないときに、休業日数分だけ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約できます。

※給湯機を複数ご使用のときは、すべてのリモコンで休業日数を同じ設定に合わせてください。

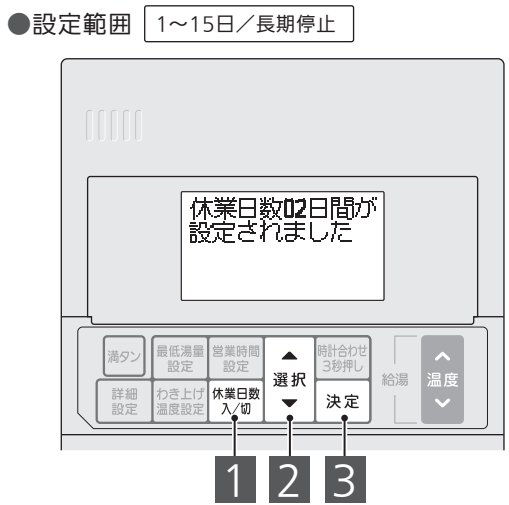
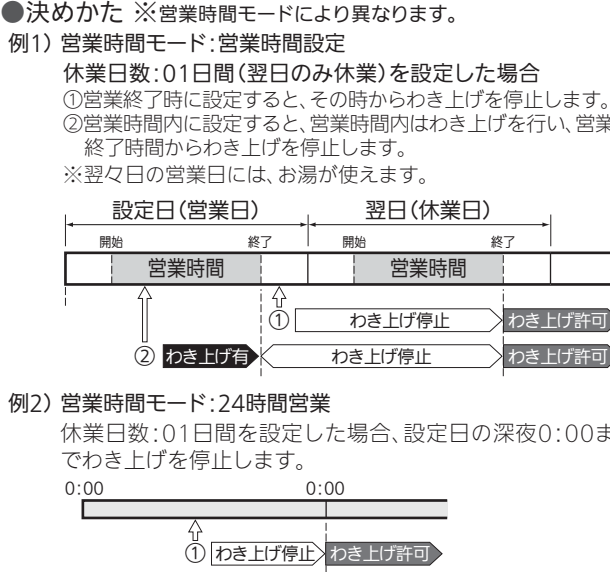
●決めかた ※営業時間モードにより異なります。

例1) 営業時間モード:営業時間設定

休業日数:01日間(翌日のみ休業)を設定した場合
①営業終了時に設定すると、その時からわき上げを停止します。
②営業時間内に設定すると、営業時間内はわき上げを行い、営業終了時間からわき上げを停止します。
※翌々日の営業日には、お湯が使えます。

例2) 営業時間モード:24時間営業

休業日数:01日間を設定した場合、設定日の深夜0:00までわき上げを停止します。

●設定範囲 1～15日／長期停止

1 休業日数入/切 を押す

2 選択スイッチで休業日数を設定する

休業日数 02日間
[進:▲ 戻:▼]

● [▲]…1日進む [▼]…1日戻る
(押し続けると連続して変更)

3 決定 を押す

休業日数02日間が
設定されました

■解除するとき:もう一度休業日数スイッチを押す

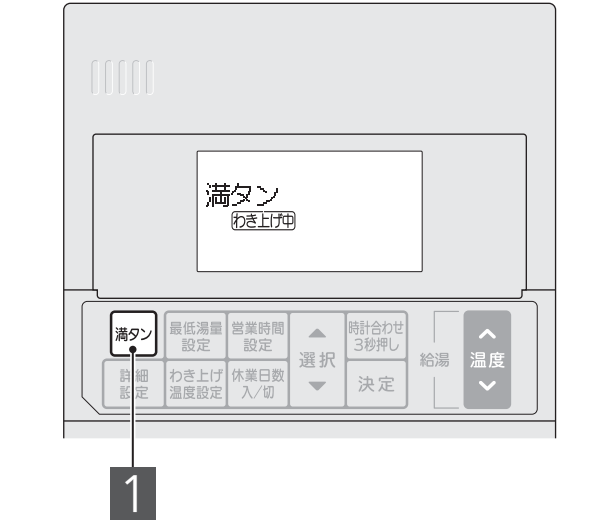
お願い

- 予定日より早く営業する場合は、休業日数を解除し、満タンわき増しをご使用ください。

お知らせ

- 現在時刻が設定されていない場合は、設定できません。
- 休業期間中に、満タンわき増しの設定、現在時刻の変更を行うと自動解除されます。
- 「長期停止」とした場合、解除するまでわき上げません。
- 「休業日数」設定時も、タンク内にお湯が残っている場合は即湯運転を実施します。即湯運転を停止する場合は、即湯運転設定を「切」にしてください。(P16)

# 満タンわき増し

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。来客数が普段よりも大勢になる場合など、たくさんのお湯が必要なときに設定してください。

1 満タン を押す

●「満タン」が表示されます。

2 残湯量表示が減るとわき増しを開始します。

●わき増し中は「わき上げ中」が表示されます。

■解除するとき:もう一度満タンわき増しスイッチを押す

お知らせ

- わき増し開始タイミングは、貯湯量調整(P20)の設定によって変わります。(わき上げ温度が「自動」の場合は除きます。)

| 貯湯量調整の設定 | わき増し開始タイミング |
|---|---|
| 300L | 残湯量表示3メモリ減 |
| 400L | 残湯量表示2メモリ減 |
| 550L | 残湯量表示1メモリ減 |

- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日の営業時間内は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。営業終了時間(24時間営業設定時は深夜0:00)になると自動的に解除されます。
- 休業日数が設定されると、自動的に解除されます。
- 満タンわき増しスイッチを押すと、初回のみお湯を使わなくてもわき上げを開始します。

# 残湯量表示

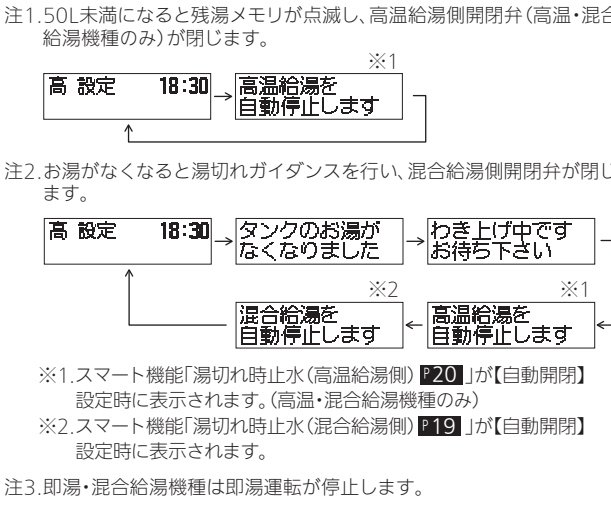
タンク内の残湯量(45℃以上のお湯の量)をリモコンに表示します。お湯が少なくなったときは、満タンわき増しを使用してください。

| 残湯量表示 | ■■■■ | ■■■ | ■■ | ■ 注1 | 注2,注3 |
|---|---|---|---|---|---|
| お湯の量 | 400L以上(ほぼ満タン) | 400L～300L | 300L～150L | 150L～0L | 残湯なし(湯切れ) |

注1.50L未満になると残湯メモリが点滅し、高温給湯側開閉弁(高温・混合給湯機種のみ)が閉じます。

注2.お湯がなくなると湯切れガイダンスを行い、混合給湯側開閉弁が閉じます。

※1.スマート機能「湯切れ時止水(高温給湯側) P20」が【自動開閉】設定時に表示されます。(高温・混合給湯機種のみ)
※2.スマート機能「湯切れ時止水(混合給湯側) P19」が【自動開閉】設定時に表示されます。

注3.即湯・混合給湯機種は即湯運転が停止します。

お知らせ

- 残湯量表示の「■」は45℃以上のお湯を表しています。表示が消えてもタンク内に残っている45℃未満のお湯は使用できます。
- **通常、わき上げ終了後、お湯を使用するまで残湯量表示は変わりません。ただし、自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。**
- タンク内のお湯の温度が下がっているときや、お湯をたくさん使用する場合は、一度に複数個の残湯量表示が減ることがあります。
- 残湯量表示が4つ点灯していても、わき上げをすることがあります。
- 設置直後など、1度もわき上げが完了していない場合は、お湯の増加とともに以下のように表示がかわります。

| 残湯量表示 | (表示なし) | 点滅 | ■ | ■■ | ■■■ | ■■■■ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| お湯の量 | 残湯なし | 50L未満 | 150L～50L | 300L～150L | 400L～300L | 400L以上(ほぼ満タン) |

# スマート機能

## ■タンク内温度
## ■使用湯量
## ■1週間平均使用湯量

現在のタンク内のお湯の温度、昨日の使用湯量※、1週間平均の給湯使用湯量を表示させることができます。

※GE-55Hは混合給湯・高温給湯を合わせた使用湯量、GE-55SUJは、混合給湯・即湯循環を合せた使用湯量となります。

**1** 詳細設定 を押す　　1.タンク内温度【80℃】
- タンク内温度が表示されます。

**2** 選択スイッチ［▲］で「2.給湯使用量」を選ぶ　　2.給湯使用量【1300L】
- 給湯使用量が表示されます。
- ［▲］…1つ進む
  ［▼］…1つ戻る

選択スイッチ［▲］で「3.平均使用量」を選ぶ　　3.平均使用量【1300L】
- 平均使用量が表示されます。

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき ： 詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

**お知らせ**
- **お湯の使用量（エネルギー）を65℃の給湯量で表示し、営業開始時間（24時間営業設定時は7:45）に更新を行います。**
- 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、GE-55H（高温・混合給湯機種）で昨日の給湯使用量表示が「1300L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜた混合給湯と、タンク内の熱いお湯を直接給湯した高温給湯を合わせて1300L使用したことを表しています。
- 即湯循環は、タンク内のお湯の熱を利用するため、実際に蛇口等でお湯を使っていなくても、使用量は多くなります。（即湯・混合給湯機種のみ）

即湯・混合給湯機種のみ

## ■即湯運転

即湯運転の入/切や即湯運転時間※を設定します。

※即湯運転時間は営業時間内（P14）に設定してください。
（営業時間は変更されませんので、必要に応じて営業時間を変更してください。）

●設定範囲

| 入：即湯運転あり/切：即湯運転なし<br>24時間運転/即湯運転時間設定（開始時間～終了時間）<br>工場出荷時は入設定、即湯運転時間設定（8:00～22:00） |
|---|

**1** 詳細設定 を押す　　1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「4.即湯運転」を選ぶ　　4.即湯運転【入】 ご使用中の設定
- ［▲］…1つ進む ［▼］…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチで入／切を決める　　4.即湯運転【切】 変更後の設定
- ［▲］…入になる：即湯運転あり（手順4へ）
  ［▼］…切になる：即湯運転なし（設定完了）

**4** 決定 を押す　　即湯運転が解除されました 即湯運転なし選択時画面
- 入選択時（即湯運転あり）：手順5へ
  切選択時（即湯運転なし）：設定完了

**5** 給湯温度スイッチでモードを決める　　4-1.24時間運転？【はい】
- ［▲］…はい：24時間運転
  ［▼］…いいえ：運転時間設定

**6** 決定 を押す　　24時間運転に設定されました 24時間運転選択時画面
- はい選択時（24時間設定）：設定完了
  いいえ選択時（運転時間設定）：手順7へ

**7** 給湯温度スイッチで開始時間を設定する　　4-2.即湯開始時間【8:00】
- ［▲］…30分進む ［▼］…30分戻る
  （押し続けると連続して変更）

**8** 決定 を押す

**9** 給湯温度スイッチで終了時間を設定する　　4-3.即湯終了時間【22:00】
- ［▲］…30分進む ［▼］…30分戻る
  （押し続けると連続して変更）

**10** 決定 を押す　　即湯運転が設定されました

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき ： 詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

**お知らせ**
- 即湯運転開始直後は、お湯が出るまでに時間がかかることがあります。
- 即湯運転は、即湯運転設定時間中に残湯量表示が1メモリ以上（初回のみ2メモリ以上）の場合に動作します。
- 即湯運転設定時間中は、リモコンに「即湯中」と表示されます。



即湯・混合給湯機種のみ

## ■即湯配管長（全長）

即湯配管の往き戻りの長さ（全長）を入力します。
即湯配管の長さにより、即湯運転に使用するお湯を確保するよう混合給湯を自動停止します。
※必ず正しい長さを入力して下さい。誤って入力されたときは、即湯運転が動作しない場合や、お湯切れをすることがあります。

●設定範囲

| 入：10m以下／[11m～20m]～[91m～100m]（10m刻み）<br>工場出荷時は、[31m～40m] |
|---|

**1** 詳細設定 を押す　　1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「5.即湯配管（全長）」を選ぶ　　5.即湯配管（全長）【31m～40m】 ご使用中の設定
- ［▲］…1つ進む
  ［▼］…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチで入／切を決める　　5.即湯配管（全長）【41m～50m】 変更後の設定
- ［▲］…1つ進む
  ［▼］…1つ戻る

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき ： 詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

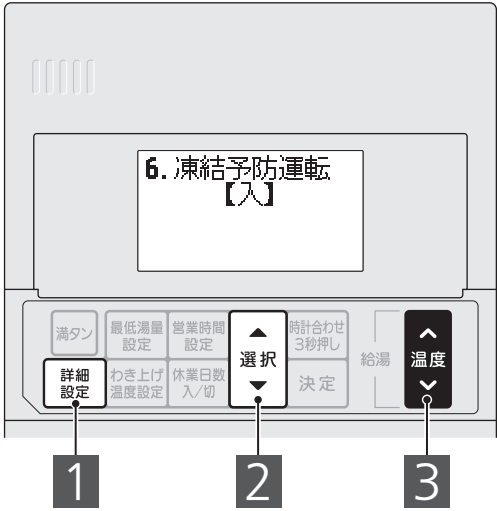
即湯・混合給湯機種のみ

## ■即湯配管の凍結予防運転

即湯配管の凍結予防運転を「入/切」できます。

●設定範囲

| 入：凍結予防運転あり / 切：凍結予防運転なし<br>工場出荷時は入 |
|---|

**1** 詳細設定 を押す　　1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「6.凍結予防運転」を選ぶ　　6.凍結予防運転【入】 ご使用中の設定
- ［▲］…1つ進む
  ［▼］…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチで入／切を決める
- ［▲］…入になる
  ［▼］…切になる

変更後の設定

凍結予防運転が解除されました

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき ： 詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

**お願い**
- 通常は「入」でご使用ください。

## ■湯切れ報知音

お湯が少なくなったとき、または、お湯がなくなったときに報知音を鳴らしてお知らせします。

●設定範囲

| 入：報知音あり／切：報知音なし<br>工場出荷時は入 |
|---|

即湯・混合給湯機種で説明しています。

**1** 詳細設定 を押す　（表示：1.タンク内温度【80℃】）

**2** 選択スイッチで「7.湯切れ報知音」を選ぶ　（表示：7.湯切れ報知音【入】　ご使用中の設定）

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチで入／切を決める　（表示：7.湯切れ報知音【切】　変更後の設定）

● ▲…入になる
　▼…切になる

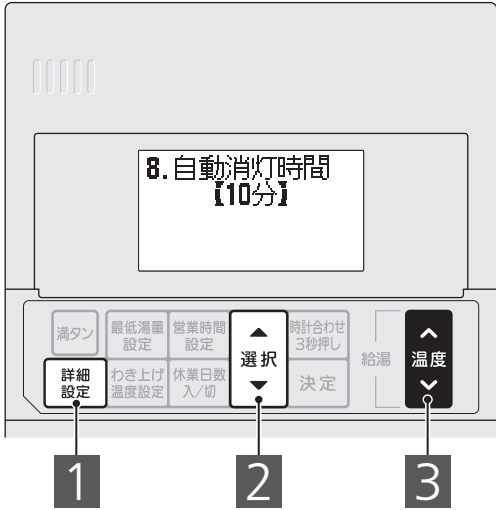
■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

## ■自動消灯時間

画面を待機表示（時計のみ表示）させるまでの時間を変更できます。給湯機を使用しないまま設定時間が経過すると、画面が待機表示に切り替わります。

●設定範囲

| 4段階（1分／5分／10分／30分）<br>工場出荷時は10分 |
|---|

即湯・混合給湯機種で説明しています。

**1** 詳細設定 を押す　（表示：1.タンク内温度【80℃】）

**2** 選択スイッチで「8.自動消灯時間」を選ぶ　（表示：8.自動消灯時間【10分】　ご使用中の設定）

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチで時間を決める　（表示：8.自動消灯時間【 5分】　変更後の設定）

● ▲…時間が増える
　▼…時間が減る

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

**お知らせ**

- 画面が消灯中でもスイッチ操作時はバックライトが点灯し、画面が復帰します。
  ※高温給湯（高温・混合給湯機種のみ）、混合給湯使用時にもバックライトが点灯するように設定できます。
  バックライトモードを「モード1」に設定してください。
- 待機表示中でも給湯温度50℃または60℃設定時は「高温注意 給湯50℃」または「高温注意 給湯60℃」がスクロールします。

## ■バックライトモード

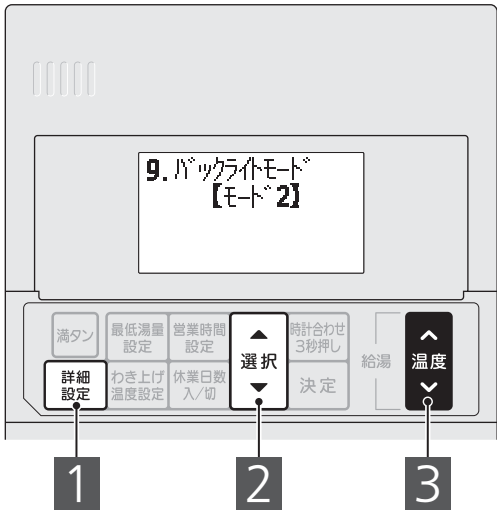
バックライトの点灯／消灯の切り替え条件を3つのモードから選べます。

●設定範囲

| モード1／モード2／モード3（下表参照）<br>工場出荷時はモード2 |
|---|

バックライト消灯・点灯条件

| モード | 消灯条件 | 点灯条件 | |
|---|---|---|---|
| | | スイッチ操作時 | 混合給湯、高温給湯※使用時 |
| モード1 | 自動消灯時間と連動 | ○ | ○ |
| モード2 | 自動消灯時間と連動 | ○ | × |
| モード3 | － | 常時点灯 | |

※高温・混合給湯機種のみ

**1** 詳細設定 を押す　（表示：1.タンク内温度【80℃】）

**2** 選択スイッチで「9.バックライトモード」を選ぶ　（表示：9.バックライトモード【モード2】　ご使用中の設定）

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチでモードを決める　（表示：9.バックライトモード【モード1】　変更後の設定）

● ▲…モードが1つ進む
　▼…モードが1つ戻る

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

## ■給湯開閉モード※1
## ■湯切れ時止水（混合給湯側）※2

※1.即湯・混合給湯機種のみ　※2.即湯・混合給湯機種以外

【自動開閉】モードでご使用いただくと、タンクのお湯が足りなくなった場合に、自動的に混合給湯を停止し、他の給湯機のお湯と混ざらないようにします。

●設定範囲

| 3モード（【自動開閉】／【常時開】／【常時閉】）<br>工場出荷時は【自動開閉】 |
|---|

高温・混合給湯機種で説明しています。

**1** 詳細設定 を押す　（表示：1.タンク内温度【80℃】）

**2** 選択スイッチで「8.混合給湯側」を選ぶ　（表示：8.混合給湯側【自動開閉】　ご使用中の設定）

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチでモードを決める　（表示：8.混合給湯側【常時開】　変更後の設定 → 開閉弁混合側が設定されました）

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

**お願い**

- 【常時閉】は、メンテナンスの際に設定します。**複数台を連結して設置の場合、通常は【自動開閉】でご使用ください。**
- 1台設置の場合は【常時開】でご使用ください。
- 湯切れしたときでも水を供給したい場合は、【常時開】でご使用ください。

**お知らせ**

- 即湯・混合給湯機種は、タンク内にお湯がある場合でも、即湯運転用の湯を残して閉止します。
- 即湯・混合給湯機種は、混合給湯が停止しても即湯運転は可能です。

# スマート機能（つづき）

## ■貯湯量調整

給湯機を複数使用する場合、わき上げ量の最大量を調整できます。わき上げ温度が「自動」のときは設定した値に関係なく、自動でわき上げを行います。
例えば、2台連結時の最大量は約1100L（550L×2台）となりますが、実使用量が750L程度の店舗では、それぞれを400Lに調節しておくことで、ムダなわき上げ量を削減できます。

●設定範囲

3段階（300L／400L／550L）
工場出荷時は550L

即湯・混合給湯機種で説明しています。

**1** 詳細設定 を押す　　1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「11.貯湯量調整」を選ぶ　　11.貯湯量調整【550L】 ご使用中の設定

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチで貯湯量を決める　　11.貯湯量調整【400L】 変更後の設定 ▼ 貯湯量調整が設定されました

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

お願い

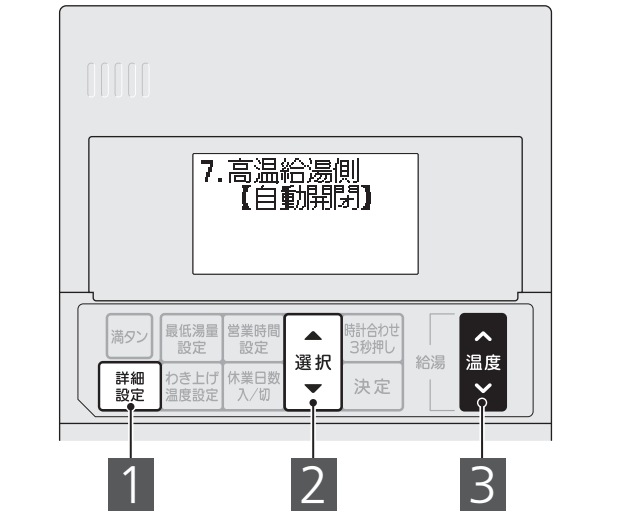
- 即湯・混合給湯機種は、【550L】でご使用ください。

お知らせ

- 貯湯量を変更した場合、最低湯量（P13）の設定値が連動して変更されます。

高温・混合給湯機種のみ

## ■湯切れ時止水（高温給湯側）

【自動開閉】モードでご使用いただくと、湯切れ時に高温給湯配管からの出水を止め、他の給湯機のお湯と混ざらないようにします。

●設定範囲

3モード（【自動開閉】／【常時開】／【常時閉】）
工場出荷時は【自動開閉】

**1** 詳細設定 を押す　　1.タンク内温度【80℃】

**2** 選択スイッチで「7.高温給湯側」を選ぶ　　7.高温給湯側【自動開閉】 ご使用中の設定

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

**3** 給湯温度スイッチでモードを決める　　7.高温給湯側【常時開】 変更後の設定 ▼ 開閉弁高温側が設定されました

● ▲…1つ進む
　▼…1つ戻る

■通常表示（時刻表示）へ戻すとき：詳細設定スイッチを押す
（スイッチを押さなくても、約1分間経過すると通常表示に戻ります。）

お願い

- 【常時閉】は、メンテナンスの際に設定します。**複数台を連結して設置の場合、通常は【自動開閉】でご使用ください。**
- 1台設置の場合は【常時開】でご使用ください。
- 湯切れしたときでも水を供給したい場合は、【常時開】でご使用ください。

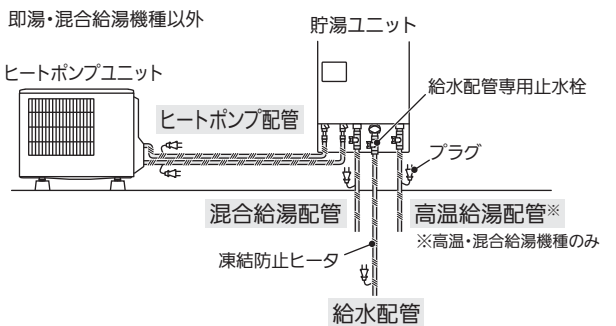
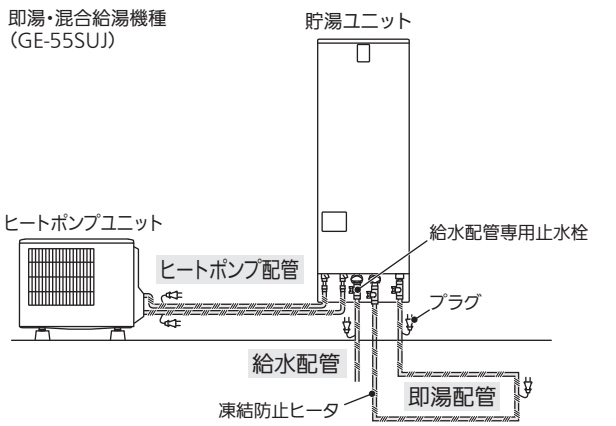
お知らせ

- 混合給湯専用機種でもリモコンによるモードの設定は受け付けますが、高温給湯機能がないため、本体内の弁は動作しません。



# 凍結防止

据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。
寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒータのプラグを入れる、凍結予防運転を設定する）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）

⚠注意　凍結防止対策の確認をする（配管が破裂してやけどの原因）

**1** 凍結防止ヒータが図のように設置されているか確認する

**2** 使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込む

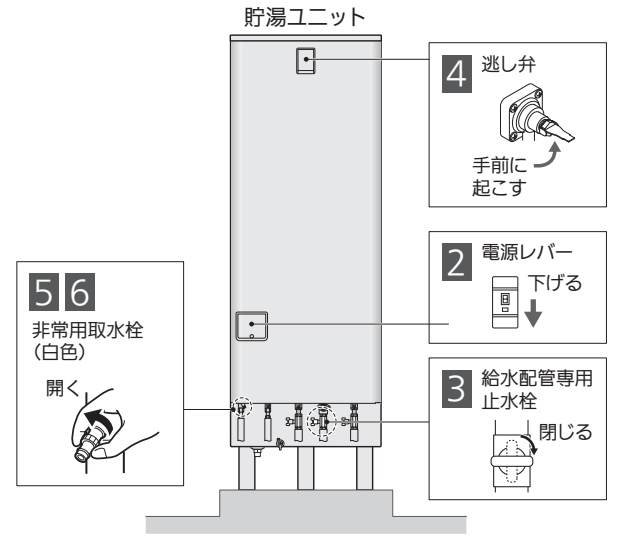
お知らせ

- 凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。
- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットの凍結防止のため、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。（休業日数が設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。）

# 非常時の取水方法

タンクの水（お湯）を生活用水として利用できます。

⚠警告　取水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない（やけどの原因）

高温・混合給湯機種で説明しています。

**1** 貯湯ユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーを外す（外しかた：P9）

**2** 貯湯ユニットの電源レバーを下げ、「切」にする

●電気の供給を停止します。

**3** 給水配管専用止水栓を閉じる

●貯湯ユニットへの給水を止めます。

**4** 貯湯ユニットの逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

●タンクへ空気を取り入れます。

**5** 非常用取水栓（白色）を開く（1回転～1回転半まわす）

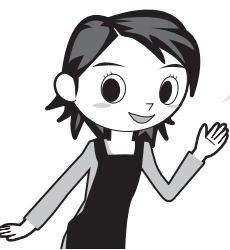
●タンクの水（お湯）を取り出します。
バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

**6** 非常用取水栓（白色）を閉じ、手順1で外した脚部カバーを取り付ける

お願い

- 再び使用するときは、逃し弁のレバーを戻し、非常用取水栓（白色）が閉じていることを確認してから、「使いはじめ（準備）P25 P27」を行なってください。
必ず機器を満水にしてからご使用ください。

# お手入れと点検

●安全・快適にお使いいただくため、定期的に行なってください。

点検時に異常がある場合は、
給水配管専用止水栓を閉じ、漏電遮断器の電源レバーを「切」にして
据付工事店（販売店）へご連絡ください。

| ⚠注意 | お手入れや点検の後は、漏電遮断器と逃し弁のカバーは閉じる（雨やごみが入ると火災や感電の原因） |
|---|---|

## 逃し弁

動作点検と水漏れ点検を行います。
わき上げをしていないときに行なってください。　頻度：年に2〜3回程度

即湯・混合給湯機種は、給湯開閉モード（P19）を【常時開】に設定してご確認ください。
点検後は【自動開閉】に戻してご使用ください。

1 **動作点検**
**逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こし、排水口から水（お湯）が出ることを確認する**

2 **逃し弁のレバーを戻し、逃し弁操作窓を閉める**

3 **水漏れ点検**
**排水口から水（お湯）が出ていないことを確認する**
水（お湯）が出ている場合は逃し弁操作窓を開け、
逃し弁のレバーを数回動かしてください。
排水口が見えないときは、脚部カバーをはずしてください。（P9）

| ⚠警告 | 逃し弁点検時は配管に手を触れない（やけどの原因） |
|---|---|
| ⚠注意 | 定期的に逃し弁を点検する（正しく作動しないと水漏れの原因） |

## 漏電遮断器

電源供給中に行なってください。　頻度：年に2〜3回程度

1 **操作窓を開け、テストボタンを押す**
電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

2 **必ず電源レバーを上げて「入」に戻し、操作窓を閉める**

| ⚠警告 | ●漏電遮断器の動作を確認する（故障のまま使用すると、感電や火災の原因）<br>●漏電遮断器は濡れた手で操作しない（感電の原因）<br>●お手入れ時や点検時は、手袋等の保護具を着用する（けがの原因） |
|---|---|

お願い ●製品外漏電遮断器のお手入れと点検については、漏電遮断器の説明書を参照ください。



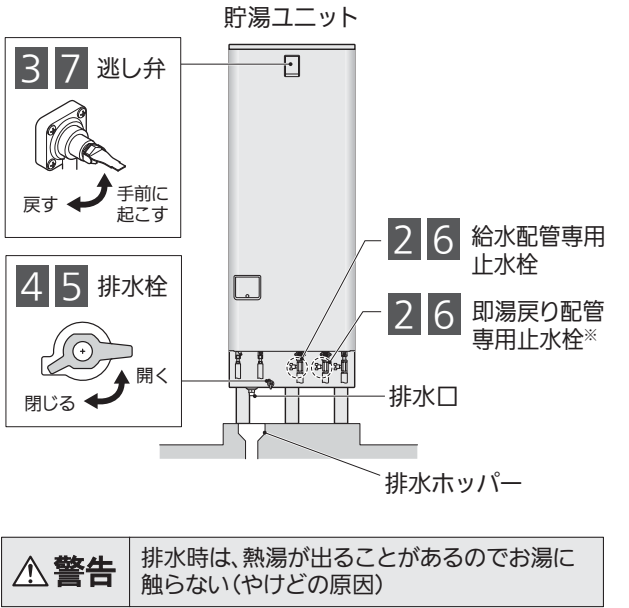
## 貯湯タンク

頻度：年に2〜3回程度

タンクの下部にたまった汚れを排水します。
わき上げをしていないときに行なってください。

1 脚部カバーを外す（P9）
2 給水配管専用止水栓、即湯戻り配管専用止水栓※を閉じる
3 逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
4 排水栓を約1〜2分間開く
タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
5 約1〜2分間たったら、排水栓を閉じる
6 給水配管専用止水栓、即湯戻り配管専用止水栓※を開く
7 排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを戻す

※即湯・混合給湯機種のみ

| ⚠警告 | 排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない（やけどの原因） |
|---|---|

## 給水ストレーナのお手入れ

頻度：日常

お湯が出ない場合は、給水ストレーナのゴミを取り除いてください。

1 脚部カバーを外す（P9）
2 給水配管専用止水栓を閉じる
3 逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
4 給水ストレーナを外し、歯ブラシなどでゴミを取り除く

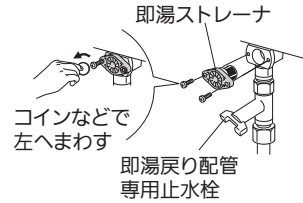
5 掃除が終わったら、給水ストレーナを取り付け、逃し弁のレバーを戻し、給水配管専用止水栓を開く

## 即湯ストレーナのお手入れ

※即湯・混合給湯機種（GE-55SUJ）のみ　頻度：日常

お湯が出ない場合は、即湯ストレーナのゴミを取り除いてください。

1 脚部カバーを外す（P9）
2 即湯戻り配管専用止水栓を閉じる
3 逃し弁操作窓を開けて、逃し弁のレバーを手前に起こす
4 即湯ストレーナを外し、歯ブラシなどでゴミを取り除く

5 掃除が終わったら、即湯ストレーナを取り付け、逃し弁のレバーを戻し、即湯戻り配管専用止水栓を開く

## 配管の水漏れ 保温材破損

頻度：年に2〜3回程度

配管の水漏れや保温材破損がないか点検します。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

お願い
●保温材の点検は、冬期前には必ず行なってください。

## リモコン

頻度：日常

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

お願い
●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

# 機器を使用しないとき

給湯機の電源を切るときや長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、以下の要領で給湯機の水を抜いてください。（水を抜かないと凍結により機器が破損したり、水質が変化することがあります。）

※給湯機を複数ご使用のとき
- 1システムずつ、すべての給湯機で水抜きを行なってください。GE-55SUと連結している場合、GE-55SUを先に、GE-55SUJは最後に実施してください。
- 水抜きを行う給湯機以外は、給水配管専用止水栓を閉じて実施してください。

## 1 準備

（1）ヒートポンプユニットの配管カバーを外す（P.9）
（2）貯湯ユニットに脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーも外す（P.9）

## 2 湯切れ時止水設定を確認する

（1）スマート機能「給湯開閉モード」が【常時開】になっているか確認する（P.19）

## 3 タンク内のお湯を水にする

- 湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します。熱いお湯が出なくなったら閉じてください。

## 4 機器のエア抜き運転を行う

（1）リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押し、ヒートポンプ配管のエア抜きを行う
（2）リモコンの時計合わせスイッチと決定スイッチを同時に3秒以上押し、即湯配管のエア抜きを行う
- エア抜き運転中は、リモコンに「HPエア抜」と「即エア抜」が交互に表示されます。約40秒エア抜きしてください。

## 5 電源を切る

（1）エア抜き運転中に、貯湯ユニットの電源レバーを「切」にする

## 6 貯湯ユニット内の水を排水する

（1）給水配管専用止水栓（④）を閉じる
- 即湯戻り配管専用止水栓、混合給湯配管専用流量調整バルブは閉じないでください。

（2）逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
（3）排水栓（③）を開く
- タンクの水（お湯）が抜けるまでに約80分かかります。
- 排水ホッパーから排水があふれないように調整してください。
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。

## 7 排水後、機器（配管）の水抜きをする

（1）ヒートポンプユニットの水抜き栓（❶❷）を開く
（2）貯湯ユニットの水抜き栓（①②）を開く
（3）貯湯ユニットの即湯ストレーナ（⑥）を外し、逆止弁の解除ボタン（⑥）を押す
（4）貯湯ユニットの給水ストレーナ（⑤）を外し、逆止弁の解除ボタン（⑤）を押す
- 容器などで受けて排水します。
- 水（お湯）が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。
- 確実に抜かないと凍結により機器が破損したり、エラーが表示される場合があります。

## 8 水抜き完了後の処置

（1）水抜き完了後、1時間程度放置してから水抜き栓、排水栓、逃し弁を閉じ、給水ストレーナ、即湯ストレーナを取り付ける
（2）手順1（1）（2）で外した配管カバー、脚部カバーを取り付ける

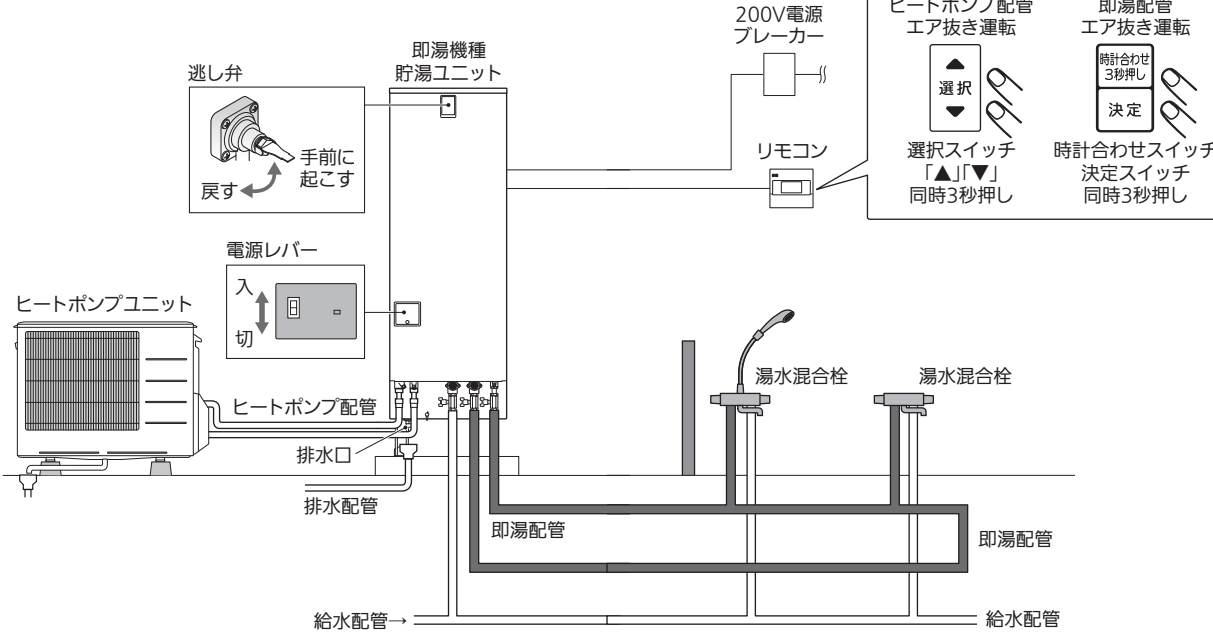
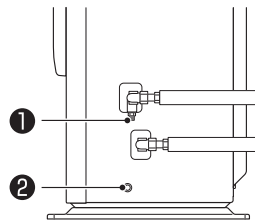
**お願い**
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、「使いはじめ（準備）P.25」を行なってください。
- **厳寒期は排水中に凍結し、機器が破損する場合があります。外気温が0℃以上の環境で排水・水抜きを行なってください。0℃未満の環境では満水状態で電源を入れたままにしておいてください。**

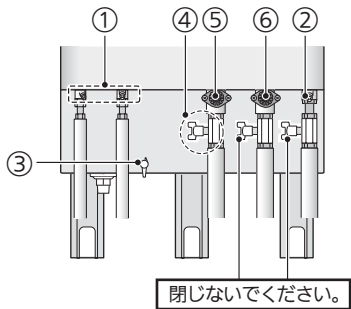
### 逃し弁、電源レバー取付位置

### 水抜き栓、排水栓、ストレーナ、給水配管専用止水栓の取付位置

**ヒートポンプユニット**

水抜き栓の操作

| |
|---|
| ❶ B側水抜き栓<br>❷ 熱交換器水抜き栓　開く |

※水抜き栓を開くときは❶→❷の順に開いてください。

**貯湯ユニット**

水抜き栓の操作

| |
|---|
| ①ヒートポンプ配管用<br>②即湯配管用 |

排水栓、給水配管専用止水栓の操作

⑤⑥ストレーナの外しかた／逆止弁の解除方法

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | ● 排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない（やけどの原因） |
| ⚠注意 | ● 機器を使用しないときは、機器と配管内の水を抜く（凍結により機器が破損して水漏れや故障の原因）<br>● 長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、機器と配管内の水を抜く（水質が変化し飲用すると健康を害する原因）<br>● タンク内の熱いお湯を直接排水しない（やけどや排水管の破損の原因） |





# 使いはじめ（準備）

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。またタンクの水抜きをせずに1ヵ月以上お湯を使用しなかった場合は、給湯機の水抜き（P.24）をしてから次の手順を行なってください。

※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

## 1 以下のことを確認する

- 200V電源ブレーカー：「切」
- 貯湯ユニットの電源レバー：「切」
- 給湯機の水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ、即湯ストレーナ：「閉」
- すべての蛇口（湯水混合栓）：「閉」

## 2 機器を満水にする

（1）逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
（2）給水配管専用止水栓を開き、貯湯ユニットへ給水する
（3）機器が満水になると、貯湯ユニットの排水口から水が出ます
（満水までの目安：約30分）
- 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。

（4）満水確認後、逃し弁のレバーを戻す
- 満水にしてから電源を入れてください。また、満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。故障の原因となります。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

## 3 機器の空気を抜く

（1）連結している他の給湯機（GE-55SU）の給水配管専用止水栓を閉じる
（2）蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開き、空気が混ざらなくなったら閉じる
（3）連結している他の給湯機（GE-55SU）の給水配管専用止水栓を開く
- 空気が混ざらなくなったら閉じてください。

## 4 電源を入れる

（1）200V電源ブレーカーを「入」にする
（2）電源レバーを上げ、「入」にする
- 電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。

## 5 機器のエア抜き運転を行う

（1）リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押し、ヒートポンプ配管のエア抜きを行う
- エア抜き運転中は、リモコンに「HPエア抜」が表示されます。10分後に自動で停止します。
- エア抜き運転を途中で終了させる場合は、同手順（「▲」「▼」同時3秒押し）を行なってください。
- 初期のみ、電源を入れる（4項）と、自動でヒートポンプ配管のエア抜きを行います。

（3）エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす（1分後、レバーを戻す）
（3）リモコンの時計合わせスイッチと決定スイッチを同時に3秒以上押し、即湯配管のエア抜きを行う
- エア抜き運転中は、リモコンに「即エア抜」が表示されます。10分後に自動で停止します。
- エア抜き運転を途中で終了させる場合は、同手順（時計合わせスイッチと決定スイッチ同時3秒押し）を行なってください。

（4）エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす（1分後、レバーを戻す）

## 6 リモコンの時刻を確認する

- その他の設定（わき上げ温度、営業時間設定など）も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。

## 7 お湯を使う

- 約8時間※で満タンまでわき上がります。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 使いはじめは、しばらくお湯に触れない（やけどの原因）<br>特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。 |

※わき上げ中に、給湯や即湯運転を行うと満タンになるまでの時間が長くなる場合があります。

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

# 機器を使用しないとき

給湯機の電源を切るときや長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、以下の要領で給湯機の水を抜いてください。(水を抜かないと凍結により機器が破損したり、水質が変化することがあります。)

※給湯機を複数ご使用のとき
- 1システムずつ、すべての給湯機で水抜きを行なってください。
- 水抜きを行う給湯機以外は、給水配管専用止水栓を閉じて実施してください。

## 1 準備
(1)ヒートポンプユニットの配管カバーを外す(P.9)
(2)貯湯ユニットに脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーも外す(P.9)

## 2 湯切れ時止水設定を確認する
(1)スマート機能「湯切れ時止水(高温給湯側)P.20」(高温・混合給湯機種のみ)、「湯切れ時止水(混合給湯側)P.19」が【常時開】になっているか確認する

## 3 タンク内のお湯を水にする
- 湯水混合栓(例えば台所など)を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します。熱いお湯が出なくなったら閉じてください。

## 4 機器のエア抜き運転を行う
(1)リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押し、ヒートポンプ配管のエア抜きを行う
- エア抜き運転中は、リモコンに「HPエア抜」が表示されます。約40秒エア抜きしてください。

## 5 電源を切る
(1)貯湯ユニットの電源レバーを「切」にする

## 6 貯湯ユニット内の水を排水する
(1)給水配管専用止水栓(⑤)を閉じる
- 高温給湯配管(高温・混合給湯機種のみ)、混合給湯配管専用流量調整バルブは閉じないでください。

(2)逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
(3)排水栓(④)を開く
- タンクの水(お湯)が抜けるまでに約80分かかります。
- 排水ホッパーから排水があふれないように調整してください。
- 排水直後に逃し弁のレバーを戻さないでください。

## 7 排水後、機器(配管)の水抜きをする
(1)ヒートポンプユニットの水抜き栓(❶❷)を開く
(2)貯湯ユニットの水抜き栓(①〜③)を開く
(3)貯湯ユニットの給水ストレーナ(⑥)を外し、逆止弁の解除ボタン(⑥)を押す
- 容器などで受けて排水します。
- 水(お湯)が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。
- 確実に抜かないと凍結により機器が破損したり、エラーが表示される場合があります。

## 8 水抜き完了後の処置
(1)水抜き完了後、1時間程度放置してから水抜き栓、排水栓、逃し弁を閉じ、給水ストレーナを取り付ける
(2)手順1(1)(2)で外した配管カバー、脚部カバーを取り付ける

お願い
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、「使いはじめ(準備)P.27」を行なってください。
- **厳寒期は排水中に凍結し、機器が破損する場合があります。外気温が0℃以上の環境で排水・水抜きを行なってください。0℃未満の環境では満水状態で電源を入れたままにしておいてください。**

### 逃し弁、電源レバー取付位置
高温・混合給湯機種で説明しています。

### 水抜き栓、排水栓、ストレーナ、給水配管専用止水栓の取付位置

ヒートポンプユニット

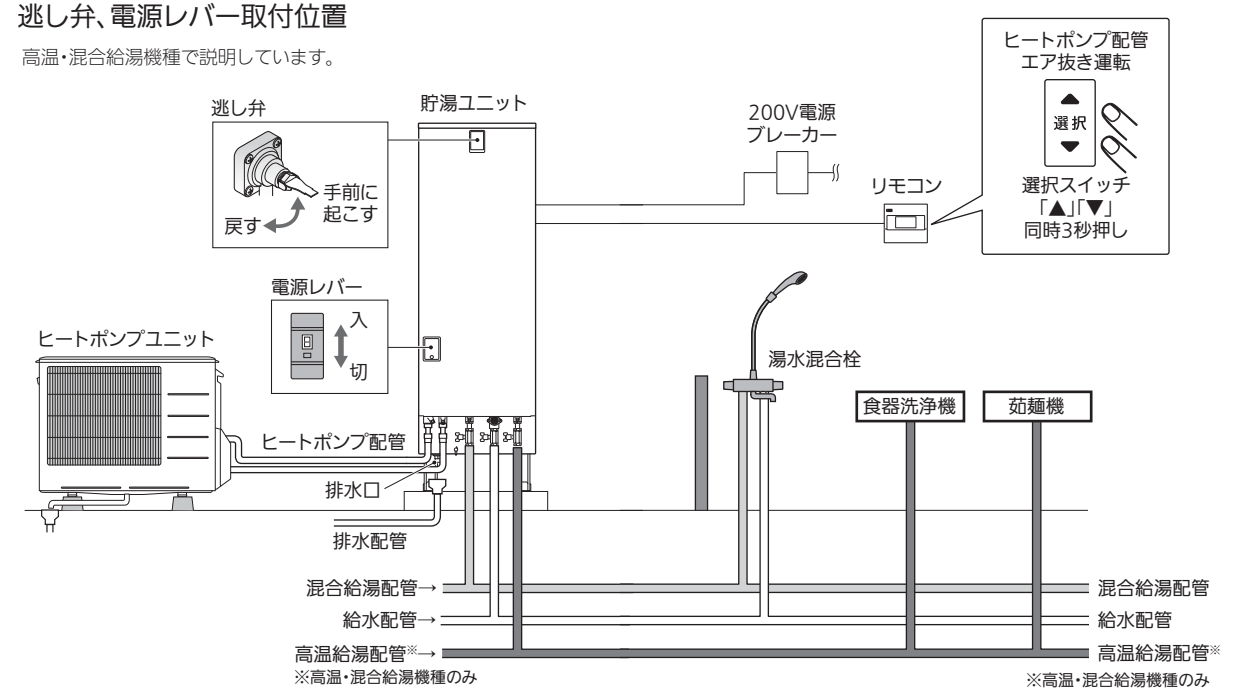
水抜き栓の操作

❶B側水抜き栓
❷熱交換器水抜き栓
開く

※水抜き栓を開くときは❶→❷の順に開いてください。

貯湯ユニット

水抜き栓の操作

①ヒートポンプ配管用
②高温給湯配管用※
※高温・混合給湯機種のみ
③混合給湯配管用

排水栓、給水配管専用止水栓の操作

⑥ストレーナの外しかた/逆止弁の解除方法

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | ●排水時は、熱湯が出ることがあるのでお湯に触らない(やけどの原因) |
| ⚠注意 | ●機器を使用しないときは、機器と配管内の水を抜く(凍結により機器が破損して水漏れや故障の原因)<br>●長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、機器と配管内の水を抜く(水質が変化し飲用すると健康を害する原因)<br>●タンク内の熱いお湯を直接排水しない(やけどや排水管の破損の原因) |





# 使いはじめ(準備)

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。またタンクの水抜きをせずに1ヵ月以上お湯を使用しなかった場合は、給湯機の水抜き(P.26)をしてから次の手順を行なってください。

※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店(販売店)へご相談ください。

## 1 以下のことを確認する
- 貯湯ユニットの電源レバー:「切」
- 給湯機の水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ:「閉」
- すべての蛇口(湯水混合栓):「閉」

## 2 機器を満水にする
(1)逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
(2)給水配管専用止水栓を開き、貯湯ユニットへ給水する
(3)機器が満水になると、貯湯ユニットの排水口から水が出ます(満水までの目安:約30分)
- 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。

(4)満水確認後、逃し弁のレバーを戻す
- 満水にしてから電源を入れてください。また、満水になるまで蛇口(湯水混合栓)は開けないでください。故障の原因となります。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

## 3 電源を入れる
(1)200V電源ブレーカーを「入」にする
(2)電源レバーを上げ、「入」にする
- 電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。

## 4 湯切れ時止水設定を確認する
(1)スマート機能「湯切れ時止水(高温給湯側)P.20」(高温・混合給湯機種のみ)、「湯切れ時止水(混合給湯側)P.19」が【自動開閉】になっているか確認する
- 1台のみで使用する場合には【常時開】に設定してください。

## 5 機器のエア抜き運転を行う
(1)リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押しヒートポンプ配管のエア抜きを行う
- エア抜き運転中は、リモコンに「HPエア抜」が表示されます。10分後に自動で停止します。
- エア抜き運転を途中で終了させる場合は、同手順(「▲」「▼」同時3秒押し)を行なってください。
- 初期のみ、電源を入れる(3項)と、自動でエア抜きを行います。

(2)エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分手前に起こす(1分後、レバーを戻す)

## 6 リモコンの時刻を確認する
- その他の設定(わき上げ温度、営業時間設定など)も工場出荷時状態に戻っていることがありますので、確認してください。

## 7 お湯を使う
- 約8時間で満タンまでわき上がります。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

| | |
|---|---|
|  警告 | 使いはじめは、しばらくお湯に触れない(やけどの原因)<br>特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。 |

# 定期点検（有料）

●給湯機を少しでも長くお使いいただくため、
3年に1度定期点検（有料）を行なってください。

※0℃以下の周囲温度のときには、定期点検しないでください。
（電源を切ると凍結により機器が破損する原因となります。）

定期点検については、据付工事店（販売店）または「修理窓口 P35」へご相談ください。

- 消耗部品は、定期的に点検または交換が必要です。
  点検の結果、必要により部品交換します。（有料）
- 定期点検を実施しないと家屋・家財などの損害に結びつく場合があります。

## 定期点検の主な内容

| | |
|---|---|
| 据付状態 | 設置面（万一、水漏れが生じた場合、床下や下層階への水の浸入を防止するために、排水・防水できるようになっているか）、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認 |
| 機能部品 | 電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※などの点検及び消耗部品の交換<br>※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をします。 |
| 清　掃 | タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、給湯機のストレーナの掃除、機能部品の掃除 |

## 消耗部品について

下記部品の交換時は、当社補修用性能部品をご使用ください。

### ■ヒートポンプユニットの消耗部品及び交換時期（メンテナンス表）

本表はヒートポンプユニットの主要部品を示します。
交換時期は目安です。保証期間を示すものではありません。
使用環境によって消耗、劣化する時期は異なります。

| 機種 / 部品名 | 三相電源 | | 単相電源 | |
|---|---|---|---|---|
| | 即湯・混合給湯機種<br>システム形名<br>GE-55SUJ※1 | 混合給湯専用機種<br>システム形名<br>GE-55SU※2 | 高温・混合給湯機種<br>システム形名<br>GE-55H※2 | 混合給湯専用機種<br>システム形名<br>GE-55※2 |
| 圧縮機 | 6年 | 10年 | 10年 | |
| ファンモータ | 4年 | 7年 | 7年 | |
| 制御基板 | 6年 | 8年 | 6年 | |

※1：給湯使用湯量　一日あたり900L（65℃換算、即湯配管長40mの場合）
※2：給湯使用湯量　一日あたり1400L（65℃換算）

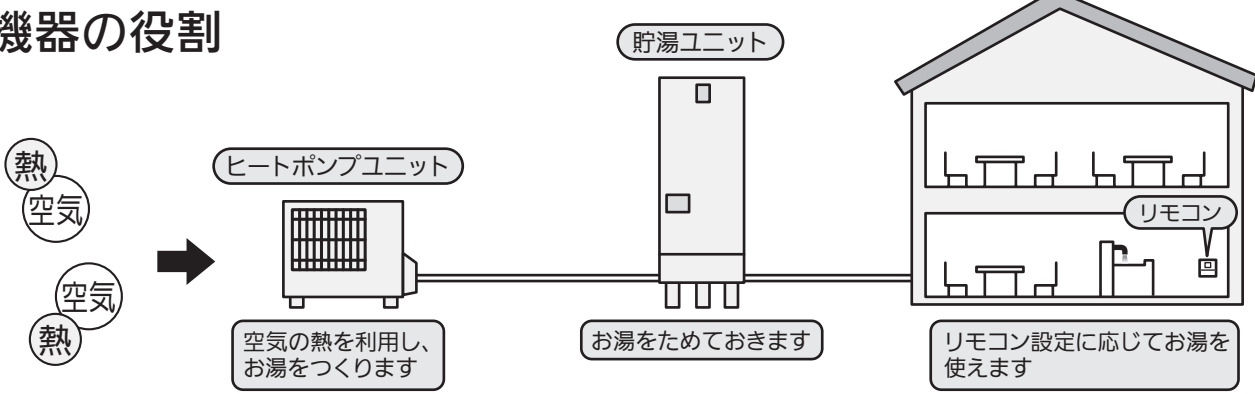
### ■貯湯ユニットの消耗部品

●減圧弁　●逃し弁　●混合弁　●切替弁　●開閉弁　●逆止弁
●ポンプ　●流量センサ　●パッキン類

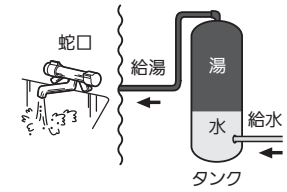
（使用環境によって3年程度で消耗・劣化する場合があります。）



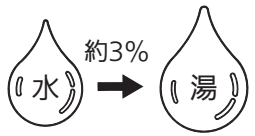
# 機器の役割など

## ■機器の役割

## ■給湯機の基本原理

### ①自動給水・押上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

### ②水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。

例えば、550Lの温水器では、約17L分増えます。この増えた分を逃がす目的で逃し弁が取付けられます。**わき上げ中に排水口からお湯が少しずつ排水される**のは、故障ではありません。正常な動作です。

### ③わき上げ中はヒートポンプユニットから運転音がします

運転中は運転音がします。また、ドレン口から少量の水が出ることがあります。

### ④タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行なったり、タンク内のお湯を直接給湯したり（高温・混合給湯機種のみ）できます。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

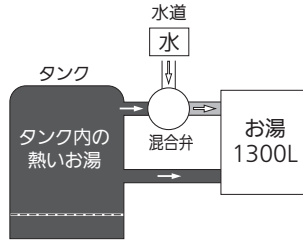
### ⑤換算湯量とは

給湯使用量などで表示されるお湯の使用量は65℃換算湯量ですので、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「1300L」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜた混合給湯と、タンク内の熱いお湯を直接給湯した高温給湯（高温・混合給湯機種のみ）を合わせて1300L使用したことを表しています。

簡略計算式

$$\text{65℃換算湯量[L]} = \text{タンク内使用湯量[L]} \times \frac{\text{タンク内温度[℃]} - \text{給水温度[℃]}}{\text{65[℃]} - \text{給水温度[℃]}}$$

### ⑥高温・混合給湯機種は、高温給湯・混合給湯の2経路あります

高温給湯は茹麺機や食器洗浄機などの業務用途に、混合給湯は蛇口・シャワーに使用できます。

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

# 仕様

## 三相電源機種

耐重塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BSG」が付きます。

| 区分 | 項目 | | |
|---|---|---|---|
| システム | 形名 | GE-55SUJ | GE-55SU |
| システム | 仕向地 | 一般地 | |
| システム | 定格電圧(周波数) | 三相200V(50/60Hz共用) | |
| システム | 最大電流 | 12A | |
| システム | 力率 | 85% | |
| システム | わき上げ温度範囲 | 約65℃～約85℃[注5] | 約65℃～約85℃ |
| システム | 給湯温度(混合給湯側) | 60℃[注4] | 35℃～48℃(1℃刻み)、50℃、60℃[注4] |
| システム | 安全装置 | 電流動作形漏電遮断器、缶体保護弁 | |
| システム | 給水器具認証書番号 | W009-20020-057 | |
| システム | 給水器具認証型番 | GE-55SJ | GE-55S |
| ヒートポンプユニット | 形名 | GE-U72S | |
| ヒートポンプユニット | 使用場所 | 屋外専用 | |
| ヒートポンプユニット | 外形寸法(高さ×幅×奥行) | 715mm×809(+70※)mm×300(+16)mm ※配管カバー寸法 | |
| ヒートポンプユニット | 質量 | 53kg | |
| ヒートポンプユニット | 運転音(中間期[※3]/冬期[※9])[※12][※13] | 44dB/47dB | |
| ヒートポンプユニット | 標準貯湯加熱 中間期加熱能力/消費電力/COP[注1][※2][※3] | 7.2kW/1.67kW/4.3 | |
| ヒートポンプユニット | 標準貯湯加熱 夏期加熱能力/消費電力/COP[注1][※2][※4] | 6.0kW/1.22kW/4.9 | |
| ヒートポンプユニット | 標準貯湯加熱 冬期加熱能力/消費電力/COP[注1][※1][※2][※5] | 7.2kW/1.80kW/4.0 | |
| ヒートポンプユニット | 標準貯湯加熱 着霜期加熱能力/消費電力/COP[注1][※1][※2][※6] | 5.3kW/2.20kW/2.4 | |
| ヒートポンプユニット | 高温貯湯加熱 中間期加熱能力/消費電力/COP[注1][※2][※7] | 6.1kW/1.95kW/3.1 | |
| ヒートポンプユニット | 高温貯湯加熱 夏期加熱能力/消費電力/COP[注1][※2][※8] | 5.0kW/1.45kW/3.4 | |
| ヒートポンプユニット | 高温貯湯加熱 冬期加熱能力/消費電力/COP[注1][※1][※2][※9] | 7.2kW/2.40kW/3.0 | |
| ヒートポンプユニット | 高温貯湯加熱 着霜期加熱能力/消費電力/COP[注1][※1][※2][※10] | 6.0kW/2.50kW/2.4 | |
| ヒートポンプユニット | 冷媒名/冷媒量 | $CO_2$(R744)/1.15kg | |
| ヒートポンプユニット | 設計圧力 | 高圧:14MPa/低圧:8.5MPa | |
| 貯湯ユニット | 形名 | GE-T55SUJ | GE-T55SU |
| 貯湯ユニット | タンク容量 | 550L | |
| 貯湯ユニット | 使用場所 | 屋外用 | |
| 貯湯ユニット | 外形寸法(高さ×幅×奥行) | 2100mm×700mm×825mm | |
| 貯湯ユニット | 質量(満水時) | 81kg(631kg) | 80kg(630kg) |
| 貯湯ユニット | 水側最高使用圧力/通常使用圧力 | 320kPa(逃し弁圧力)/280kPa(減圧弁圧力) | |
| 貯湯ユニット | 制御用消費電力 | 0.009kW | |
| 貯湯ユニット | 凍結防止ヒータ消費電力 | 0.024kW | 0.036kW |
| 貯湯ユニット | タンク保温性能[※11] | 2.8℃低下/10時間 | |
| 貯湯ユニット | 給湯配管接続可能数 | 4台[注2] | |

## 単相電源機種

耐重塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BSG」が付きます。

| 区分 | 項目 | | |
|---|---|---|---|
| システム | 形名 | GE-55H | GE-55 |
| システム | 仕向地 | 一般地 | |
| システム | 定格電圧(周波数) | 単相200V(50/60Hz共用) | |
| システム | 最大電流 | 19A | |
| システム | わき上げ温度範囲 | 約65℃～約85℃ | |
| システム | 給湯温度 高温給湯側 | 約65℃～約85℃ | ― |
| システム | 給湯温度 混合給湯側 | 35℃～48℃(1℃刻み)、50℃、60℃ | |
| システム | 安全装置 | 電流動作形漏電遮断器、缶体保護弁 | |
| システム | 給水器具認証書番号 | W009-20020-057 | |
| システム | 給水器具認証型番 | GE-55H | GE-55 |
| ヒートポンプユニット | 形名 | GE-U72 | |
| ヒートポンプユニット | 使用場所 | 屋外専用 | |
| ヒートポンプユニット | 外形寸法(高さ×幅×奥行) | 715mm×809(+70※)mm×300(+16)mm ※配管カバー寸法 | |
| ヒートポンプユニット | 質量 | 55kg | |
| ヒートポンプユニット | 運転音(中間期[※3]/冬期[※9])[※12][※13] | 44dB/47dB | |
| ヒートポンプユニット | 標準貯湯加熱 中間期加熱能力/消費電力/COP[注1][※2][※3] | 7.2kW/1.67kW/4.3 | |
| ヒートポンプユニット | 標準貯湯加熱 夏期加熱能力/消費電力/COP[注1][※2][※4] | 6.0kW/1.22kW/4.9 | |
| ヒートポンプユニット | 標準貯湯加熱 冬期加熱能力/消費電力/COP[注1][※1][※2][※5] | 7.2kW/1.80kW/4.0 | |
| ヒートポンプユニット | 標準貯湯加熱 着霜期加熱能力/消費電力/COP[注1][※1][※2][※6] | 5.3kW/2.20kW/2.4 | |
| ヒートポンプユニット | 高温貯湯加熱 中間期加熱能力/消費電力/COP[注1][※2][※7] | 6.1kW/1.95kW/3.1 | |
| ヒートポンプユニット | 高温貯湯加熱 夏期加熱能力/消費電力/COP[注1][※2][※8] | 5.0kW/1.45kW/3.4 | |
| ヒートポンプユニット | 高温貯湯加熱 冬期加熱能力/消費電力/COP[注1][※1][※2][※9] | 7.2kW/2.40kW/3.0 | |
| ヒートポンプユニット | 高温貯湯加熱 着霜期加熱能力/消費電力/COP[注1][※1][※2][※10] | 6.0kW/2.50kW/2.4 | |
| ヒートポンプユニット | 冷媒名/冷媒量 | $CO_2$(R744)/1.15kg | |
| ヒートポンプユニット | 設計圧力 | 高圧:14MPa/低圧:8.5MPa | |
| 貯湯ユニット | 形名 | GE-T55H | GE-T55 |
| 貯湯ユニット | タンク容量 | 550L | |
| 貯湯ユニット | 使用場所 | 屋外用 | |
| 貯湯ユニット | 外形寸法(高さ×幅×奥行) | 2100mm×700mm×825mm | |
| 貯湯ユニット | 質量(満水時) | 77kg(627kg) | 75kg(625kg) |
| 貯湯ユニット | 水側最高使用圧力/通常使用圧力 | 193kPa(逃し弁圧力)/170kPa(減圧弁圧力) | |
| 貯湯ユニット | 制御用消費電力 | 0.006kW | |
| 貯湯ユニット | 凍結防止ヒータ消費電力 | 0.048kW | 0.036kW |
| 貯湯ユニット | タンク保温性能[※11] | 2.8℃低下/10時間 | |
| 貯湯ユニット | 給湯配管接続可能数 | 高温給湯側:4台/混合給湯側:2台[注3] | 混合給湯側:4台[注2] |

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2 わき上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。
※3 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、沸上げ温度65℃
※4 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)25℃/21℃、水温24℃、沸上げ温度65℃
※5 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度65℃
※6 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸上げ温度65℃
※7 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、沸上げ温度85℃
※8 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)25℃/21℃、水温24℃、沸上げ温度85℃
※9 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸上げ温度85℃
※10 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸上げ温度85℃
※11 作動条件:貯湯ユニット周囲温度20℃、水温15℃、沸上げ温度65℃
※12 運転音はJRA4060規格に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
※13 複数台(2～4台)設置の場合、表示値よりも大きくなります。

注1. JRA4060に基づき、消費電力1kWあたりの加熱能力を表したものです。
標準貯湯加熱COP=標準貯湯加熱能力÷標準貯湯加熱消費電力　COPは成績係数(Coefficient of performance)の略
注2. 各給湯機からの流量が1L/分以上の場合。
1L/分を下回る場合はお湯が出ませんので、1L/分以上を確保できるように接続台数を減らしてください。
注3. 接続台数を多くすると、高温給湯と同時に給湯されたときなど、大きくお湯の温度が変動しますので、3台以上接続しないでください。
注4. 即湯循環システムでご使用の場合、建築物環境衛生管理基準にしたがい、給湯温度を35℃～48℃(1℃刻み)、50℃に設定するときは、湯水混合栓の遊離残留塩素検査を定期的に実施する必要があります。検査方法などは保健所などにご相談ください。
注5. 即湯運転設定中は、約75℃～約85℃になります。
注6. 電力契約については最寄りの電力会社へお問い合わせください。この給湯機は「通電制御型夜間蓄熱式機器」ではありません。
注7. 耐重塩害仕様を使用した場合でも発錆に対して万全ではありません。設置やメンテナンスに際しては下記事項に留意願います。
①海水及び潮風に直接さらされることを極力回避するような場所に設置してください。
②外装パネルに付着した塩分等が雨水により十分洗浄されるような場所に設置してください。
③機器の状態を定期的に点検し、必要に応じて再防錆処置や部品交換などを実施してください。
④海岸地域での据付品については、付着した塩分を除去するために、定期的に水洗いをしてください。
⑤基礎部分については排水性を確保してください。

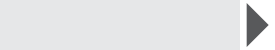
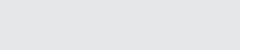
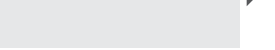
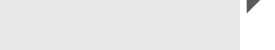
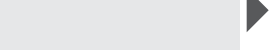
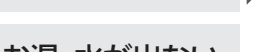
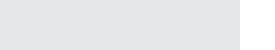
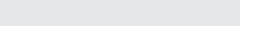


# 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点を確認してください。

直らないときは、使用を中止して、お買い上げの販売店または修理窓口(P35)へ。

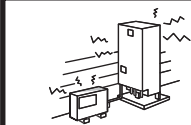
## お湯関係

お湯・水に関する内容です。

| 症状 | 処置・確認事項 |
|---|---|
| お湯がたりない | ●お湯をたくさん使用した場合は、**満タンわき増し**(P15)をご利用ください。<br>また、貯湯量調整(P20)、わき上げ温度(P13)、最低湯量(P13)を上げてください。<br>●わき上げをしていないときに排水口から水(お湯)が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。(P22) |
| 蛇口のお湯の温度が低い、水が出る | **〈混合給湯・高温給湯側(高温・混合給湯機種のみ)共通〉**<br>●**配管の放熱**によって、温度が低くなることがあります。<br>●湯切れしている場合、お湯は出ません。お湯がわくまでしばらくお待ちください。<br>●タンク内の温度が低いときは、給湯温度より低い温度のお湯が出ることがあります。<br>**〈混合給湯側〉**<br>●混合水栓で水と混合されている場合は、給湯温度よりも低くなります。<br>●蛇口の開き方が少ないと、残湯があってもお湯が出ない場合があります。<br>●サーモスタット付湯水混合栓の場合は、使用するお湯の温度より給湯温度設定を10℃以上高くしてください。それでもお湯の温度が低い場合は、湯水混合栓の取扱説明書にしたがって温度調節を行なってください。調節方法が分からない場合は、湯水混合栓の取扱説明書に記載の相談窓口へお問い合わせください。<br>●1ヵ所のみの湯温が低い場合は湯水混合栓の故障の可能性があります。販売店にご相談ください。<br>**〈高温給湯側(高温・混合給湯機種のみ)〉**<br>●高温給湯はタンクに貯湯されているお湯を直接給湯します。お湯の使用状況やわき上げ状況によっては、温度が低くなることがあります。 |
| お湯の温度が変動する | ●高温・混合給湯機種は、高温給湯と混合給湯を同時に使用すると、お湯の温度が変動することがあります。<br>●蛇口の開閉などにより温度が変動することがあります。 |
| お湯から油が出る、臭い | ●配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。気になる場合はタンク内の湯を入れかえてください。(P24 P26)<br>●高温給湯口(高温・混合給湯機種のみ)は初回使用時に汚れが出ることがあります。ご使用前に蛇口の開閉を繰り返し、排水してください。 |
| 青い線がつく | ●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので身体に害はありません。台所用の油汚れ専用洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。 |
| 水が青く見える | ●光の波長の関係や浴槽の色などによって水が青く見えることがあります。 |
| お湯・水が出ない | ●給水配管専用止水栓、即湯戻り配管専用止水栓(即湯・混合給湯機種のみ)、高温給湯配管用流量調整バルブ(高温・混合給湯機種のみ)、混合給湯配管用流量調整バルブが閉じている場合は開いてください。<br>●断水時は、断水が終わるまで待ってください。<br>●配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。<br>●即湯ストレーナ(即湯・混合給湯機種)、給水ストレーナにゴミがつまっている場合は、ゴミを取り除いてください。(P9 P23)<br>●**給湯開閉モード、湯切れ時止水**設定(P19 P20)が【常時閉】になっている場合は、【自動開閉】に設定してください。湯切れしている場合、水だけ供給しすぐに使用したいときは【常時開】にしてください。<br>●1台設置の場合、**給湯開閉モード、湯切れ時止水**設定(P19 P20)は【常時開】でご使用ください。 |
| お湯・水が出るまでに時間がかかる | ●配管が長い場合は、お湯・水が出るまで時間がかかることがあります。<br>●即湯ストレーナ(即湯・混合給湯機種)にゴミが詰まっている場合は、ゴミを取り除いてください。(P9 P23) |

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

## お湯関係（つづき）

**お湯・水**に関する内容です。

| 症状 | 処置・確認事項 |
|---|---|
| お湯がわかない | ●200V電源ブレーカーまたは電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。<br>●**休業日数**（P14）を設定している場合は、**休業日数**を解除してください。<br>●**営業時間**（P14）の設定が店舗営業時間と合っているかご確認ください。<br>●**満タンわき増し**をご利用ください。（P15）<br>●外部制御盤でわき上げ停止を設定している場合は、わき上げ停止を解除してください。 |
| お湯が白く濁って見える | ●水中に溶け込んでいた空気が細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。 |
| 空気を含んだお湯が出る | ●即湯循環システムでご使用の場合、リモコンの時計合わせスイッチと決定スイッチを同時に3秒以上押して、**即湯配管のエア抜き運転**（即湯・混合給湯機種のみ）を行なってください。<br>エア抜き運転完了後は、**給湯開閉モード**（P19）を【常時開】にし、蛇口から空気が出なくなるまでお湯を出してください。作業終了後は【自動開閉】に戻してご使用ください。 |

## 給湯機

貯湯ユニット、ヒートポンプユニットに関する内容です。

| | 症状 | 処置・確認事項 |
|---|---|---|
| 貯湯ユニット  | 排水口からお湯（水）が出ている | ●わき上げ中は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。<br>●わき上げ中以外にお湯が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（P22）<br>●貯湯ユニットのドレンホースから水が出続ける場合は、貯湯ユニットからの水漏れの可能性がありますので据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| ヒートポンプユニット  | 水が出ている | ●運転中はドレン口から少量の水が出ることがあります。<br>●温度、湿度によって、機器の底面に結露することがあります。 |
| | 休業日数設定中も動く | ●外気温度が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。<br>●**営業終了時間**までは、わき上げを行います。 |
| | 運転音がうるさい | ●わき上げ中は運転音が出ます。冬期等の外気温度が低い環境では、運転音は大きくなる場合があります。<br>●外気温度が低く、湿度が高いときは、自動霜取装置がはたらきますので、運転音が悪化する場合があります。<br>●フィンに付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。 |
| | 運転／停止を繰り返す | ●外気温度が低いときは、ヒートポンプユニットの熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。 |
| | 営業終了時間になってもすぐにわき上げしない | ●給水温度が高い場合や残湯量が多い場合は、営業終了時間（24時間営業設定時は深夜0:00）になってもすぐにわき上げを行いません。営業開始時間にお湯がわき上がるよう調整しています。 |

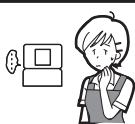
### 冬期に多い現象

●ヒートポンプユニットの運転音は大きくなる場合があります。
●ヒートポンプユニットのフィンに霜がつき、白くなることがあります。また、付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。
●配管からの放熱により、お湯を使っていないのに残湯量が減ったり、タンク内の温度が上がらないことがあります。



## 操作

リモコンの操作に関する内容です。

| | 症状 | 処置・確認事項 |
|---|---|---|
| 満タンわき増し | スイッチを押してもわき上げをしない | ●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。<br>●満タンわき増しを設定するとお湯を約100L使用したとき自動的にわき上げを開始します。（わき上げ温度が「自動」の場合は除く。）<br>●外部制御盤でわき上げを停止を設定している場合は、わき上げ停止を解除してください。 |
| タンク内温度表示 | タンク内の温度が低い | ●以下のことを行うとタンク内の温度が上がらない場合があります。<br>①わき上げ中にお湯を使用した場合<br>②わき上げ温度の設定を変えた場合（「中」→「高」など）<br>③給水温度が低く、残湯量が少ない場合<br>④配管からの放熱や外気温度が低い場合<br>⑤使用量が少ない場合<br>●**わき上げ温度**が「自動」設定の場合、学習によってタンク内の温度は変わるため、わき上げを行なっていれば正常です。 |
| 最低湯量  | 設定が勝手に変更されている | ●**貯湯量調整**（P20）と連動して、**最低湯量**の設定値は変更されます。 |

## リモコン

リモコンの**画面（表示部）**や**ブザー（報知音）**に関する内容です。

| | 症状 | 処置・確認事項 |
|---|---|---|
| リモコン | 表示が消えている、時々点灯する | ●給湯機を一定時間使用しない場合には画面が待機表示に切り替わります。（**自動消灯時間**：P18）<br>●**バックライトモード**がモード1に設定されているときは、お湯を使用したときにバックライトが点灯します。（**バックライトモード**：P19） |
| | 点灯しない | ●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。 |
| | 時刻が「00:00」で点滅する | ●時刻を設定してください。（P12） |
| | 突然、リモコンのブザーが鳴る | ●混合給湯温度を**60℃**に変更したときは、**ブザー**が鳴ります。<br>●お湯の量が少なくなったとき、またはなくなったときに**報知音**が鳴ります。 |
| | 表示が残像する | ●低温環境下では、液晶の動作が鈍り、表示に残像が残る場合があります。 |
| | 消灯中に文字が流れている（スクロールする） | ●待機表示中の混合給湯温度50℃または60℃設定時には「高温注意 給湯50℃」または「高温注意 給湯60℃」がスクロールします。 |
| | 「即湯中」や「外部制御」が表示される | ●即湯運転時間設定中は、「即湯中」が表示されます。（P10）<br>●外部入力によるわき上げ停止中は、「外部制御」が表示されます。（P10） |
| 残湯量表示   | 営業開始時刻に「満タン」表示にならない | ●**わき上げ温度**が「自動」設定の場合、お湯の使用量が少ないときは、不要なわき上げを防ぐため、タンク全量をわき上げないことがあります。<br>●**営業終了時間～営業開始時間**が短いと、満タンまでわき上がらないことがあります。<br>●貯湯量調整（P20）で550L以外に設定した場合は、「満タン」表示になりません。 |

ご使用の前に
使いかた
こんなとき
故障かな

# リモコンにエラーが表示されたら

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、使用を中止し、お買い上げの販売店または「修理窓口(P35)」へご相談ください。

| 表示 | 原因・処置 |
|---|---|
| U00 | ●給湯機の給水口にお湯が供給されています。給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時や、給水口と即湯戻り口が反対に接続されている時は据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P35) |
| H03 | ●給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。<br>据付工事店(販売店)へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。 |
| H10 | ●貯湯ユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。<br>正しい組み合わせでも「H10」が表示される場合は、据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P35) |
| H11 | ●貯湯ユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。<br>据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。 |
| その他の表示(E05)など | ●給湯機の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店(販売店)または「修理窓口」へご連絡ください。(P35) |

# 据付工事確認と試運転立会い

- 三菱小型業務用エコキュートの据付工事は、据付工事店(販売店)が「電気設備に関する技術基準」及び「内線規定」に基づき実施しております。据付工事完了後、据付工事説明書の25ページの事項をお客様ご自身でご確認ください。
- 据付工事店(販売店)が試運転を行う際、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店(販売店)から説明を受けてください。



# 保証とアフターサービス

## ■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。(取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保存してください。)
- 据付工事説明書(別添付)で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

| 保証期間 | 1年間 |
|---|---|

## ■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

## ■修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P31)にしたがってお調べください。

- なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店(販売店)にご連絡ください。

### 保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって据付工事店(販売店)が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
点検・診断のみでも有料となることがあります。

### 修理料金は

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

- 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

### ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　自然冷媒$CO_2$小型業務用ヒートポンプ給湯機
2. 形　　名　(例) GE-T55SUJ (ジーイー　テー　エスユージェイ)
3. お買上げ日　　年　月　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に)
5. ご 住 所　(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

※形名は貯湯ユニットの前面カバーに表示(P9)

**■この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。**

●施工上の不具合による故障及び損傷が生じた場合や据付(接続・調整等)、取扱説明を依頼された場合は保証期間内であっても無償保証の対象外となります。

## ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

**取扱い・修理のご相談は、まず お買上げの販売店へ**

●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口** へお問い合わせください。

**■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて**

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

### ご相談窓口　家電品の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

**●三菱電機お客さま相談センター**

フリーコール いつもサンキュー 365日 **0120-139-365** (無料)

■ご相談対応　平　日　9:00~19:00
土・日・祝・弊社休日　9:00~17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。
〒154-0001　東京都世田谷区池尻 3-10-3

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **TEL 0570-077-365** (有料)
ナビダイヤル **FAX 0570-088-365** (有料)

フリーコール・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は
TEL 03-3414-9655　FAX 03-3413-4049

### 修理窓口　家電品の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

**●三菱電機修理受付センター**

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)

**www.melsc.co.jp**

空メールの送り先: **fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。URLをメール返信します。

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **TEL 0570-01-8634** (有料)

ナビダイヤル **FAX 0570-03-8634** (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
**●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。**

K14A

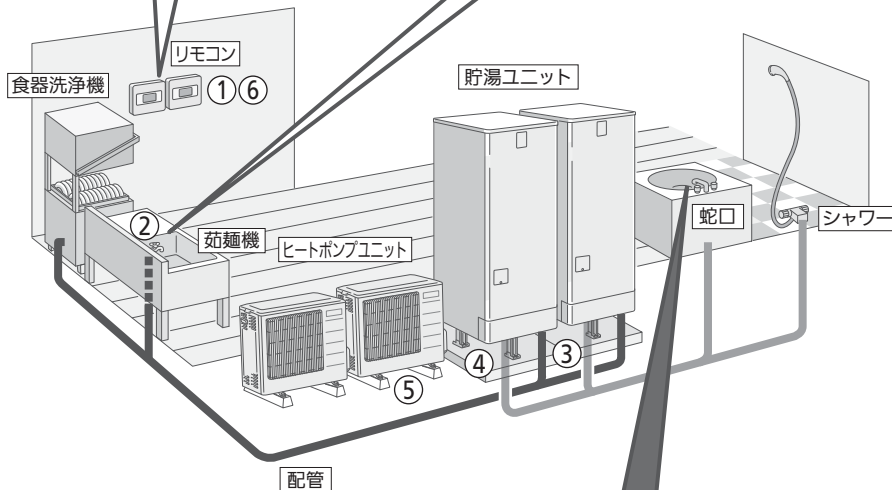
# よくあるご質問

高温・混合給湯機種で説明しています。

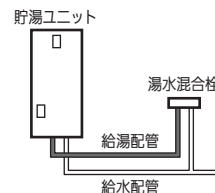
## ①「お湯がなくなりました」と表示

普段より多くお湯を使用する場合は「満タン」を押してください。

## ② 湯温が低い

- 配管から放熱し、温度が低くなることがあります。
- お湯の使用状況やわき上げ状況によっては、温度が低くなることがあります。

## ③ お湯・水が出ない

- 給水配管専用止水栓が開いていること、給水ストレーナのゴミ詰まりを確認してください。
- 冬期、お湯が出ない場合は以下の流れで、各配管に凍結がないか確認してください。(お買い上げの販売店へご相談ください。)

※即湯・混合給湯機種は、給湯開閉モード(P19)を【常時開】に設定してご確認ください。
ご確認後は、【自動開閉】に戻してご使用ください。

| | |
|---|---|
| ④貯湯ユニットの排水口からお湯が出る | わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。 |
| ⑤ヒートポンプユニットから水が出ている | 運転中はドレン口(P8)から少量の水が出ることがあります。 |
| ⑥リモコンの画面が点灯・消灯する | ●給湯機を一定時間使用しない場合には画面が待機表示に切り替わります。(自動消灯時間 P18)<br>●バックライトモードがモード1に設定されているときはお湯を使用したときに点灯します。(バックライトモード P19) |

| 製品形名 | GE-55 | | 据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号 |
|---|---|---|---|
| 製造番号 | 1台目 | | |
| | 2台目 | | |
| | 3台目 | | |
| | 4台目 | | |
| リモコン形名 | RMC-GE | | |
| お買上げ日 | 年　月　日 | | |

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

★長年ご使用の給湯機の点検を!　●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

| こんな症状はありませんか | ●水が漏れている<br>●時々漏電遮断器がはたらく。<br>●その他の異常や故障がある。 |
|---|---|

| ご使用中止 | 故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。 |
|---|---|


三菱電機株式会社

群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

T965Z164H02〈2014-10〉